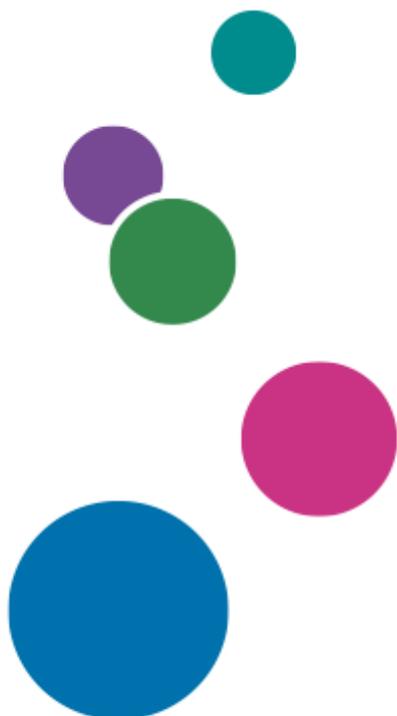




使用説明書



はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1-3-6 〒143-8555

<https://www.ricoh.co.jp/>

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』
「本機に関する安全上のご注意」をお読みください。

安全にお使いいただくために

共有機として本機を使用するシーンでは、オープンシステムの特徴で様々な脅威が想定されます。安全にお使いいただくために、別冊の『RICOH Collaboration Board セキュリティホワイトペーパー』の「付録：RICOH Collaboration Board システムガイド」の「専用アカウントについて」を確認して、適切なアカウントで運用してください。

機器のセキュリティを確保するため以下の点に注意し、設置と設定を適切に行ってください。

1. 最新のファームウェアを適用する。
2. お客様が追加したアプリケーションやデバイスなどで、最新のアプリケーションを使用する。
3. 最新の Windows Update を適用する。
4. 推測されにくいパスワードを設定する。
5. ファイヤーウォールで守られたネットワーク内で使用する。
6. 情報漏洩を防止するため、ホワイトボードにはパスワードを設定し、ミーティングが終わったらホワイトボードを終了する。
7. のぞき見による情報漏洩を防止するため、使用するときは周囲に配慮する。
8. SSD 暗号化機能(BitLocker)を有効にする。
9. 適切な OS の設定を維持する。

はじめて使用するとき

本機をはじめて使用するとき、電源を入れると設定画面が表示されます。画面の表示に従って設定してください。

★重要

- ・ 内蔵 Windows のコンピューター名に日本語を使用すると、正常に動作しないことがあります。コンピューター名を変更するときは、半角英数字とハイフンだけで 32 文字以内にしてください。
- ・ 専用アカウントのパスワードを変更すると正常に動作しなくなるので、変更しないでください。
- ・ パスワードを忘れてしまうとサービス実施店または販売店での対応になります。データが初期化され、有料での対応になります。

1. 管理者パスワードの設定

内蔵 Windows の管理者アカウントのパスワードを設定します。管理者アカウントは、RICOH Collaboration Board 管理者設定アプリで設定を変更するときや、内蔵 Windows の設定を変更するときなどに使用します。

2. システムを最新のバージョンに更新

初期更新アプリが自動的に起動します。画面の表示に従ってシステムを最新に更新します。

3. 専用アカウントの作成

システムの更新が完了すると、初期設定アプリが自動的に起動します。画面の表示に従って RICOH Collaboration Board の専用標準アカウントを作成します。専用標準アカウントを作成すると、電源を入れるだけですぐに機器を使用できます。



内蔵 Windows には、あらかじめグループポリシーが設定されています。詳細は、別冊の『RICOH Collaboration Board セキュリティホワイトペーパー』を参照してください。

↓ 補足

アプリが自動的に起動しないときは、内蔵 Windows のデスクトップにあるアプリのショートカットアイコンから起動してください。

説明書の読みかた

使われているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

★重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。指示を守らないと製品やサービスが使えなくなったり、データ消失の原因になったりする項目を記載しています。必ずお読みください。

↓補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

おことわり

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

お客様が本機を使用して作成した文書やデータを運用した結果について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および説明書（本書・付属の説明書）を使用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本機にはサードパーティー製のアプリをダウンロード、使用する機能が備わっています。本機にサードパーティー製のアプリをダウンロードしたり、そのアプリを使用したりする場合、その責任は当社ではなく、すべてお客様にあります。当社は、サードパーティー製のアプリの正確性、完全性、または品質については、一切保証しません。

サードパーティー製のアプリが原因で本機に異常が発生した場合、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本機は、本書に記載する使用条件に則ってご利用ください。

SSD について

本機はストレージデバイスとして SSD を使用しています。SSD はその特性から、書き込み回数に一定の上限があり、上限を超えると SSD 内に不良な領域が増えて、使用できる領域が減少するなどの症状が発生します。書き込み回数はお客様の使用方法に依存するため、場合によってはこの症状が早く発生することがあります。このようなときは、SSD の交換が必要です。サービス実施店に連絡してください。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

目次

はじめに	1
正しくお使いいただくために	1
はじめて使用するとき	2
説明書の読みかた	4
使われているマークの意味	4
おことわり	4
本書についてのご注意	5
1. コラボレーションボードの概要	11
コラボレーションボードでできること	11
ユーザー認証機能	14
ホーム画面の見かた	15
ミニランチャーに表示されるアイコン	17
リモコン使用のヒント	19
USB メモリーを取り付ける	20
2. ホワイトボードアプリを使用する	21
画面を操作する	21
ホワイトボードアプリを起動する	23
ホワイトボードアプリ画面に表示されるアイコン	23
ミーティングに参加する	29
ミーティング一覧画面の見かた	29
ミーティング情報を表示する	31
今すぐミーティングを開始する	31
ミーティングコードでミーティングに参加する	32
ミーティング一覧からミーティングに参加する	32
ホワイトボード画面に書き込む	33
ホワイトボード画面に線やスタンプを書き込む	33
ホワイトボード画面にテキストを入力する	36
ホワイトボード画面に書き込んだ内容を選択して編集する	38
ホワイトボード画面に書き込んだ内容を削除する	41
ホワイトボード画面にマーカーを書き込む	43
ホワイトボード画面に書き込んだ操作を元に戻す	43
ホワイトボード画面を PDF でメール送信する	44
ホワイトボード画面に PDF を読み込む	46

ミーティングのリンクをメール送信する	49
ホワイトボード画面を保存する	49
ホワイトボード画面を印刷する	50
表示倍率を変更する／表示位置を移動する	51
ページを操作する	52
ページを追加する	52
ページを移動する	52
サムネイルからページを移動する.....	52
テンプレートを選択する.....	52
ページを削除する	53
ホワイトボードアプリを終了する	55
3. 外部アプリケーションでミーティングに参加する	57
外部アプリケーションを起動する	57
カメラとマイクを設定する	58
4. ホワイトボードアプリ以外の画面に書き込む	59
アノテーションを開始する	59
アノテーション画面に表示されるアイコン	60
アノテーションを使用して線やマーカーを書き込む	61
アノテーションを使用してペンで書き込む	61
アノテーションを使用してマーカーを書き込む	62
アノテーションを使用して書き込んだ内容を削除する	63
アノテーションで一部の書き込みを削除する	63
アノテーションでイレーサーで削除する	63
アノテーションですべての書き込みを削除する	64
アノテーションを使用して書き込んだ操作を元に戻す	65
5. 機器を接続して使用する	67
外部機器を接続する.....	67
オーディオ／ビデオ信号の接続	67
デジタル入力の接続.....	67
DisplayPort オルタネートモード対応機器の接続.....	69
外部スピーカーの接続	69
外部機器への電源供給	70
コンピューターやタブレットを接続する.....	71

Windows コンピューターを無線 BYOM で接続する	72
オプションのカメラユニットを使用する	74
Gesture Pointer の設定	74
カメラのオンスクリーンディスプレイメニュー	74
タッチスクリーンを使用する	76
タッチスクリーンを使用するときの重要な注意事項	76
プロジェクターで画面を投影する	78
6. 各種設定を確認・変更する	79
設定画面を表示する	79
設定画面の項目	79
管理者設定アプリを起動する	81
管理者設定画面の項目	81
システムを更新する	86
オンスクリーンディスプレイメニューを表示する	89
オンスクリーンディスプレイメニューの操作	89
オンスクリーンディスプレイメニューの項目	90
テンプレートを管理する	100
テンプレートを登録する	100
7. RICOH Collaboration Board Cloud Client を使用する	103
PC アプリをインストールする	103
PC アプリの動作環境	103
アプリケーションをインストールする	104
PC アプリを起動する	105
PC アプリのホワイトボードアプリ画面の見かた	106
PC アプリのホワイトボードアプリ画面に表示されるアイコン	106
PC アプリでミーティングに参加する	110
PC アプリのミーティング一覧画面の見かた	110
PC アプリでミーティング情報を表示する	112
PC アプリでミーティングを作成する	113
PC アプリで今すぐミーティングを開始する	114
PC アプリでミーティングコードでミーティングに参加する	114
PC アプリでミーティング一覧からミーティングに参加する	114
PC アプリでミーティングリンクでミーティングに参加する	115

ミーティングから退出する	117
ミーティングを削除する前のメール通知を設定する	117
PC アプリでホワイトボード画面に書き込む	119
PC アプリでホワイトボード画面に線やスタンプを書き込む	119
PC アプリでホワイトボード画面にテキストを入力する	122
PC アプリでホワイトボード画面に書き込んだ内容を選択して編集する	123
PC アプリでホワイトボード画面に書き込んだ内容を削除する	127
PC アプリでホワイトボード画面にマーカーを書き込む	128
PC アプリでホワイトボード画面に書き込んだ操作を元に戻す	129
PC アプリでホワイトボード画面を保存する	130
PC アプリでページを操作する	131
PC アプリでページを追加する	131
PC アプリでページを移動する	131
PC アプリでサムネイルからページを移動する	131
PC アプリでページを削除する	131
Microsoft 365 や Box と連携する	133
Microsoft 365 との連携を設定する	133
Box との連携を設定する	134
Outlook にアドインをインストールする	136
Outlook でミーティングを作成する	138
PC アプリをアンインストールする	140
8. トラブルを解決する	141
ホワイトボードアプリを使用中にメッセージが表示されたとき	141
思いどおりに使用できないとき	143
電源を入れたとき/切ったとき	143
映像を表示しているとき	144
ホワイトボードとして使用しているとき	146
モニターとして使用しているとき	147
リモコンを使用しているとき	148
9. 付録	151
お手入れについて	151
ディスプレイを清掃する	151
RS-232C 端子で制御できる機能とコマンド一覧	152

コマンド一覧.....	153
付属品のカメラオプション取り付けブラケットについて.....	161
仕様	162
搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報	167
お問い合わせ先.....	168
商標	170

1. コラボレーションボードの概要

本書では、コラボレーションボードのホワイトボード機能の概要と画面の見かたについて説明します。

1

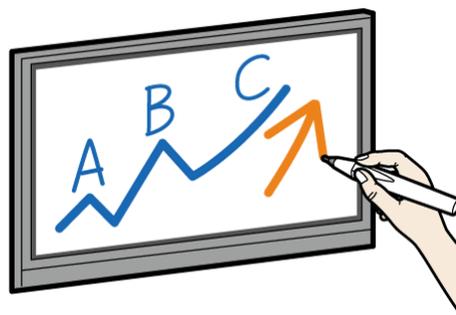
コラボレーションボードでできること

コラボレーションボードでは次の操作ができます。

ホワイトボードを使う

ペンや指を使用して、ホワイトボードに文字や線などを書き込めます。フリーハンドの線を書き込む以外にも、スタンプやテキストが入力できます。

⇒P.21「ホワイトボードアプリを使用する」



ページを操作する

- ホワイトボードのページの追加や、複数のページを切り替えての書き込みができます。
- 表示したページの表示倍率を変更できます。

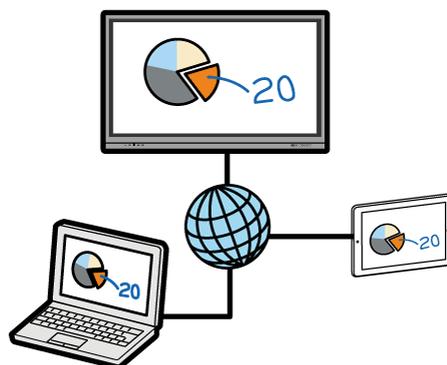
⇒P.52「ページを操作する」



ミーティングに参加する

ミーティングに参加できます。

⇒P.29「ミーティングに参加する」

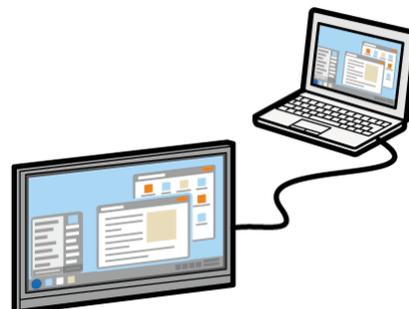


Y3131X0044

コンピューターなどの外部機器の画面を表示する

コンピューターやタブレット、書画カメラなどを本機に接続して、映像を表示できます。

⇒P.67「機器を接続して使用する」



ホワイトボードアプリ以外の画面に書き込む

本機に接続した外部機器の映像や文書ファイルの表示、Web ページなどのアプリ画面に文字を書き込めます。

⇒P.59「ホワイトボードアプリ以外の画面に書き込む」



↓ 補足

- 本機がインターネットに接続されているときに、ソフトウェアアップデートの確認や機器の操作ログを送信するために定期的に弊社サーバーと通信します。
- ログには各アプリケーションのボタン操作やソフトウェアの起動・停止などの操作情報だけが含まれ、個人を特定できる情報は含まれません。また、クラウド契約がない端末のデータはサーバーには送信されません。

ユーザー認証機能

なりすましによるデータ漏洩や不正アクセス防止のために、本機を使用するユーザーを制限できます。

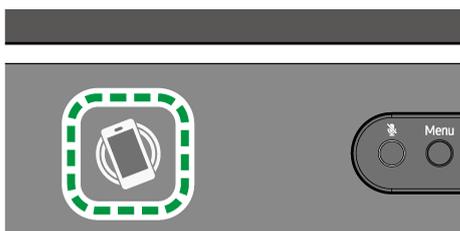
★重要

事前に管理者設定画面でユーザー認証の設定が必要です。詳しくは、P.85「ユーザー認証設定」を参照してください。

管理者設定画面で、「ユーザー認証設定」の「利用前に認証する」を有効にしていると、本機の電源を入れたときにユーザー認証の画面が表示されます。本機を使用するには認証が必要です。認証に成功すると、ホーム画面が表示されます。

IC カードで認証する

本機の前面にあるタッチマークに IC カードをかざします。



キーボードで認証する

[ユーザー名とパスワードで認証] をタッチして、キーボードでユーザーID とパスワードを入力します。

ホーム画面の見かた



1. 日時

現在の時刻と日付が表示されます。

2. ディスプレイとして使う

Windows や macOS、Android、iOS を使用している機器の画面を、本機に表示できます。詳しくは、P.67「機器を接続して使用する」を参照してください。

3. 【設定】

各種設定の確認、変更ができます。詳しくは、P.79「各種設定を確認・変更する」を参照してください。

4. ミニランチャー

詳しくは、P.17「ミニランチャーに表示されるアイコン」を参照してください。

5. 環境センサー

- ・ 会議室の室温・湿度と不快指数アイコンが表示されます。室温と湿度をもとに求められる不快指数が75以上のときは、赤字で表示されます。不快指数に応じて、アイコンが変化します。
- ・ 会議室の二酸化炭素濃度が表示されます。二酸化炭素濃度が2000ppm以上のときは赤字で表示され、警告アイコンが表示されます。

6. 【ホワイトボードを使う】

指やペンを使用して、ホワイトボードに文字や図形などを書き込めます。詳しくは、P.21「ホワイトボードアプリを使用する」を参照してください。

7. 【ファイルを開く】

- 本機や USB メモリーなどに保存したファイルの管理ができます。
- RICOH Collaboration Board Add-on Service for Microsoft 365 を契約しているときは、IC カードまたはキーボードで認証すると、オンラインストレージの選択画面が表示されます。開くオンラインストレージをタッチして、ダウンロードするファイルを選択します。事前に PC アプリの [アカウント設定] で、Microsoft 365 や Box との連携の設定が必要です。
- オンラインストレージ一覧が表示されないときは Microsoft 365 連携および Box 連携の認証が期限切れの状態です。連携がされていないことが画面に表示されます。画面に表示される [設定 URL をメール送信する] をタッチすると、Microsoft 365 連携および Box 連携の設定サイトの URL を認証済みユーザーのメールアドレスに送信する手順に進めます。

詳しくは、P.133「Microsoft 365 や Box と連携する」を参照してください。

- [ローカルストレージを開く] をタッチすると、本機や USB メモリーなどに保存したファイルの管理ができます。

8. 【Web 会議を開始する】

- 管理者設定画面で登録した Web 会議の URL を開きます。詳しくは、P.84「ランチャー設定」を参照してください。
- RICOH Collaboration Board Add-on Service for Microsoft 365 を契約しているときは、IC カードまたはキーボードで認証すると、スケジュール一覧が表示されます。参加する Web 会議を選択して Web 会議の URL をタッチすると、Web 会議に参加できます。事前に PC アプリの [アカウント設定] で、Microsoft 365 との連携の設定が必要です。詳しくは、P.133「Microsoft 365 との連携を設定する」を参照してください。

- [会議 ID を使用して開始する] をタッチすると、管理者設定画面で登録した Web 会議の URL を開きます。詳しくは、P.84「ランチャー設定」を参照してください。
- IC カードまたはキーボードで認証されず、スケジュール一覧が表示されないときは、Microsoft 365 連携が期限切れの状態です。連携がされていないことが画面に表示されます。画面に表示される [設定 URL をメール送信する] にタッチすると Microsoft 365 連携設定サイトの URL を認証済みユーザーのメールアドレスに送信する手順に進めます。

9. 【アプリケーションを使う】

本機にインストールしたアプリケーションのリストを表示します。

管理者設定画面でアプリケーションの登録が必要です。詳しくは、P.84「ランチャー設定」を参照してください。

10. 【電源】

本機の使用を終了します。

↓ 補足

環境センサーは本体の内部に設置されているため、本機の設置方法によっては会議室の実際の環境と異なる数値を示すことがあります。

ミニランチャーに表示されるアイコン

ミニランチャーはすべての画面で表示できます。

アイコン	説明
	ミニランチャーの表示と非表示を切り替えます。
	ホーム画面を表示します。
	起動中のアプリケーションのアイコンが表示されます。タッチするとアプリケーションを切り替えます。ここでは例としてホワイトボードアプリのアイコンを掲載しています。

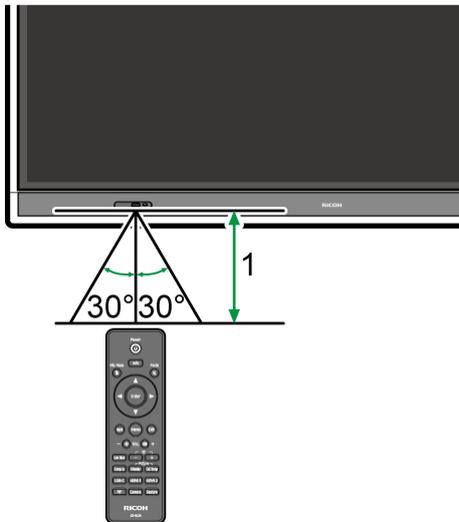
アイコン	説明
	タッチキーボードを表示します。
	<p>画面を撮影して、ホワイトボードに取り込みます。画面全体を撮影する方法と、範囲を選択して撮影する方法があります。</p> <p>撮影したページはページリストの最終ページに追加され、引き続き書き込みなどの操作ができます。</p>
	<p>アノテーションツールバーの表示と非表示を切り替えます。アノテーションツールバーを表示すると、アノテーションを使用してホワイトボードアプリ以外の画面に書き込めます。</p> <p>目 参照</p> <ul style="list-style-type: none">• P.59 「ホワイトボードアプリ以外の画面に書き込む」

リモコン使用のヒント

★重要

- ・ リモコンは、熱、湿気、および火気から遠ざけてください。
- ・ リモコンを濡らしたり、風呂場など湿気の多い場所に放置したりしないでください。
- ・ 故障の原因となりますので、リモコンを落とさないでください。
- ・ リモコンと製品のリモコンセンサーの間に障害物を置かないでください。
- ・ リモコンを長期間使用しないときは電池を抜いてください。

リモコンの先端をディスプレイのリモコンセンサーウィンドウにまっすぐ向けてボタンを押してください。リモコンが正しく動作する距離は、リモコンの先端からディスプレイのリモコンセンサーウィンドウまで最大 7m です。



1. 最大 7m

↓補足

ディスプレイのリモコンセンサーに直射日光や強い光が当たるとリモコンが正しく動作しないときがあります。そのときは、光源の向きを変える、ディスプレイの角度を調整し直す、またはディスプレイのリモコンセンサーにリモコンを近づけるなどの措置をとってください。

USB メモリーを取り付ける

本機で作成したページを USB メモリーに保存したり、USB メモリーからファイルを読み込んだりするときは、以下の手順で USB メモリーを取り付けてください。

⚠ 注意



- USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

★ 重要

- 本機が USB メモリーのデータにアクセスしている間は、USB メモリーを抜かないでください。USB メモリー内のデータが破損することがあります。
 - USB2.0 または USB3.0 に対応した USB 機器を使用してください。USB ポートの種類と用途については、『はじめにお読みください』を参照してください。
1. USB メモリーの向きを確認し、空いている USB ポートの奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

2. ホワイトボードアプリを使用する

書き込みなどの基本操作やページの操作、書き込んだ内容の保存などについて説明します。

画面を操作する

2

ペンや指などで画面を操作できます。アイコンやボタンを選択するときは、ペン先や指で選択する項目にタッチします。

本機でコンピューターの画面を操作するときは、1回タッチするとシングルクリック、同じ位置に2回タッチするとダブルクリックできます。

主な画面操作

入力

手書きで入力します。

削除

書き込んだ内容を削除します。書き込みごとの削除、ページ全体の削除などの方法があります。

選択

対象の書き込みを囲んで選択します。

拡大・縮小

ホワイトボードを拡大、縮小します。

移動

選択した内容を移動します。

切り取り・コピー・貼り付け

選択した内容を切り取り、コピー、貼り付けます。

↓ 補足

- 画面操作の詳細は、P.33「ホワイトボード画面に書き込む」を参照してください。

- 画面操作は Apple Pencil も対応しています。ただし、Apple Pencil 固有の機能については保証しません。

操作にあたって

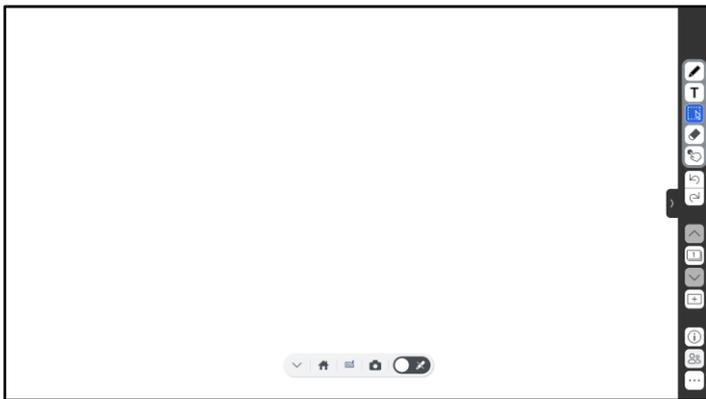
- ペンや指で操作するとき、服の袖などが画面に触れていると、正常に書き込めないことがあります。
- 拡大、縮小、移動などの操作をするとき、画面にタッチした 2 本の指の間隔が狭いと、正確に認識されないことがあります。
- 画面の上端にタッチして操作すると、正確に認識されないことがあります。

ホワイトボードアプリを起動する

1. ホーム画面で、【ホワイトボードを使う】をタッチします。



ホワイトボードアプリが起動して、自動的にミーティングを作成して参加します。



ホワイトボードアプリ画面に表示されるアイコン

★重要

クラウドホワイトボードに接続するには、本機の日時の設定が必要です。

アイコン	説明
	ローカルホワイトボードのときに表示されます。 ローカルホワイトボード 以下のいずれかのときは、ホワイトボードはローカルストレージに保存されます。

アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機がテナントにデバイス登録されていないとき • 本機がオフラインのとき <p>クラウドホワイトボード</p> <p>本機がテナントにデバイス登録されていてオンラインのときは、ホワイトボードはクラウドに自動的に保存されます。</p>
	<p>ストローク、蛍光ペン、スタンプを書き込むときに使用します。</p> <p>タッチするとサブメニューが表示されます。</p>
	<p>サブメニューからペンモードを選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストロークを書き込むときに使用します。 • 書き込むときの色や太さを変更できます。 <p>目 参照</p> <p>P.33 「ホワイトボード画面にペンで書き込む」</p>
	<p>サブメニューから蛍光ペンモードを選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 蛍光ペンを書き込むときに使用します。 • 書き込むときの色や太さを変更できます。 <p>目 参照</p> <p>P.34 「ホワイトボード画面に蛍光ペンで書き込む」</p>
	<p>サブメニューからスタンプモードを選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンプを書き込むときに使用します。 • 書き込むときの色や種類を変更できます。 <p>目 参照</p> <p>P.35 「ホワイトボード画面にスタンプを書き込む」</p>
	<p>テキストを入力するときに使用します。</p> <p>テキストの色や太さを変更できます。</p>

アイコン	説明
	<p> 参照</p> <p>P.36 「ホワイトボード画面にテキストを入力する」</p>
	<p>書き込んだストローク、蛍光ペン、スタンプ、テキストを選択して編集するとき 사용합니다。</p>
	<p>ページ内の書き込みをすべて選択します。</p> <p> 参照</p> <p>P.38 「書き込みを移動する」</p>
	<p>選択した書き込みをコピーします。</p> <p> 参照</p> <p>P.40 「書き込みを切り取りまたはコピーして貼り付ける」</p>
	<p>選択した書き込みを切り取ります。</p>
	<p>コピーまたは切り取った書き込みを貼り付けます。</p>
	<p>書き込んだストローク、蛍光ペン、スタンプ、テキストを削除するとき 사용합니다。</p> <p> 参照</p> <p>P.41 「ホワイトボード画面に書き込んだ内容を削除する」</p>
	<p>ページ内の書き込みをすべて削除します。</p> <p> 参照</p> <p>P.42 「すべての書き込みを削除する」</p>
	<p>マーカーを書き込むとき 사용합니다。</p> <p> 参照</p> <p>P.43 「ホワイトボード画面にマーカーを書き込む」</p>

アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • ストローク、蛍光ペン、スタンプ、テキストの書き込み、編集、消去を元に戻すときに使用します。 • 元に戻した操作をやり直すときに使用します。 <p>目 参照</p> <p>P.43 「ホワイトボード画面に書き込んだ操作を元に戻す」</p>
	<p>前のページを表示します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.52 「ページを移動する」</p>
	<p>ページ一覧を表示します。</p> <p>↓ 補足</p> <p>数字はページ番号です。表示しているページによって数字は変わります。</p> <p>目 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> • P.52 「サムネイルからページを移動する」 • P.53 「ページを削除する」
	<p>次のページを表示します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.52 「ページを移動する」</p>
	<p>新しいページをページ一覧の末尾に作成します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.52 「ページを追加する」</p>
	<p>ミーティング情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自身が開催者のときはミーティング情報を編集できます。 • それ以外のときはミーティングの概要を表示します。
	<p>ミーティングの参加者を表示します。</p>

アイコン	説明
	その他のメニューを表示します。
	テンプレート一覧を表示します。 目 参照 P.52 「テンプレートを選択する」
	読み込みたい PDF ファイルを表示します。 目 参照 P.46 「ホワイトボード画面に PDF を読み込む」
	ホワイトボード画面を PDF ファイルにしてメールで送信します。 目 参照 P.44 「ホワイトボード画面を PDF でメール送信する」
	ミーティングのリンクをメールで送信します。 ↓ 補足 クラウドホワイトボードのときだけ表示されます。 目 参照 P.49 「ミーティングのリンクをメール送信する」
	ホワイトボード画面を PDF ファイルにして保存します。 目 参照 P.49 「ホワイトボード画面を保存する」
	ホワイトボード画面を印刷します。 目 参照 P.50 「ホワイトボード画面を印刷する」
	「ミーティング一覧」画面を表示します。

2. ホワイトボードアプリを使用する

アイコン	説明
	目 参照 P.29 「ミーティング一覧画面の見かた」
	ホワイトボード設定を表示します。

ミーティングに参加する

ミーティングに参加する方法を説明します。

★重要

- ・ ミーティングに参加できる台数は、コンピューターやタブレットからの参加者と参加デバイス（コラボレーションボード）を合わせて最大 20 台です。
- ・ ミーティングの時間は、最大 8 時間です。
- ・ ミーティングの情報を最後に編集した日から 180 日後に、ミーティングは削除されます。編集することで、ミーティングの削除予定日は 180 日延長されます。

ホーム画面で [ホワイトボードを使う] をタッチすると、自動的にミーティングを作成して参加します。

既存のミーティングに参加するときは、参加するミーティングを「ミーティング一覧」から選択します。

ミーティング一覧画面の見かた

ホワイトボードアプリ画面の☰をタッチすると、「ミーティング一覧」画面が表示されます。自分が参加できるミーティングの日時とミーティング名を一覧できます。



1. 日付指定アイコン

カレンダーを表示します。日付を選択すると、その日に開催される会議だけが表示されます。

2. 「日時」カラム

ミーティングの日時の昇順／降順でミーティングリストをソートします。

3. 「ミーティング名」カラム

ミーティング名の昇順／降順でミーティングリストをソートします。

4. 【今すぐミーティングを開始】

すぐにホワイトボードを使用できます。詳しくは、P.31「今すぐミーティングを開始する」を参照してください。

5. 「削除予定日」カラム

ミーティングの削除予定日の昇順／降順でミーティングリストをソートします。削除予定日が同じミーティングは、ミーティング名の昇順で表示します。

6. 【ミーティングコードで参加】

参加者や参加デバイス以外の参加が許可されていれば、参加者に設定されていなくても、ミーティングコードを入力して参加できます。詳しくは、P.32「ミーティングコードでミーティングに参加する」を参照してください。

7. アカウントアイコン

アカウントメニューを表示します。

8. ミーティングリスト

ミーティングの日時とミーティング名を表示します。開催中のミーティングは背景の色が変わります。

ミーティングを選択すると、「ミーティング概要」画面が表示されます。詳しくは、P.31「ミーティング情報を表示する」を参照してください。

自分が開催者のミーティングには、が表示されます。このアイコンをタッチすると、ミーティングを削除できます。

9. 「ローカルミーティング一覧」

ローカルミーティングの一覧を表示します。

10. 「ミーティング一覧」

クラウドミーティングの一覧を表示します。

↓ 補足

以下のときは [ミーティングコードで参加] は表示されません。

- 「ローカルミーティング一覧」を選択したとき
- 「ローカルミーティング一覧」だけ使用できる状態のとき

ミーティング情報を表示する

「ミーティング概要」画面で、自分が参加者に含まれているミーティングの概要を確認できます。また、自分が開催者のミーティングは編集もできます。

1. 「ミーティング一覧」画面でミーティングを選択します。
2. ミーティングにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して [OK] をタッチします。

「ミーティング概要」画面または「ミーティング編集」画面が表示されます。

3. ミーティングの情報をコピーするときは、[招待情報のコピー] をタッチします。
ミーティングの情報がテキストとしてクリップボードにコピーされます。ミーティングの参加者に、メールやチャットなどで共有できます。

ミーティングを編集する

1. 「ミーティング編集」画面でミーティングの情報を編集します。
2. [保存] をタッチします。

今すぐミーティングを開始する

新規のミーティングを開始する方法を説明します。

1. 「ミーティング一覧」画面で「今すぐミーティングを開始」をタッチします。

自分が開催者のミーティングが開始して、ホワイトボード画面が表示されます。

ミーティングコードでミーティングに参加する

2

1. 「ミーティング一覧」画面で「ミーティングコードで参加」をタッチします。
2. ミーティングコードを入力して「OK」をタッチします。
3. ミーティングにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して「OK」をタッチします。

「ミーティング概要」画面または「ミーティング編集」画面が表示されます。

4. 「参加」をタッチします。

以前のミーティングで保存されたホワイトボード画面が読み込まれて表示されます。

ミーティング一覧からミーティングに参加する

1. 「ミーティング一覧」画面でミーティングを選択します。
2. ミーティングにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して「OK」をタッチします。

「ミーティング概要」画面または「ミーティング編集」画面が表示されます。

3. 「参加」をタッチします。

以前のミーティングで保存されたホワイトボード画面が読み込まれて表示されます。

ホワイトボード画面に書き込む

書き込みなどの基本操作について説明します。

★重要

複数の人で同時に書き込むときは、必ず「ホワイトボード設定」の「複数同時書き込みを有効にする（二本指での操作はできない）」のチェックを付けてください。設定が無効のときに複数の人で同時に書き込むと、拡大や移動など、意図しない動作をすることがあります。「ホワイトボード設定」については、P.23「ホワイトボードアプリ画面に表示されるアイコン」を参照してください。

2

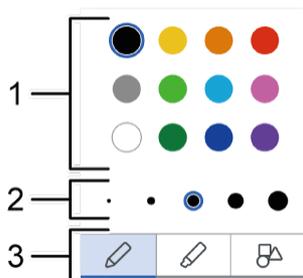
ホワイトボード画面に線やスタンプを書き込む

ペンや指で線やスタンプなどを書き込みます。

ホワイトボード画面にペンで書き込む

フリーハンドで線を書き込みます。

ペン入力モードのサブメニュー

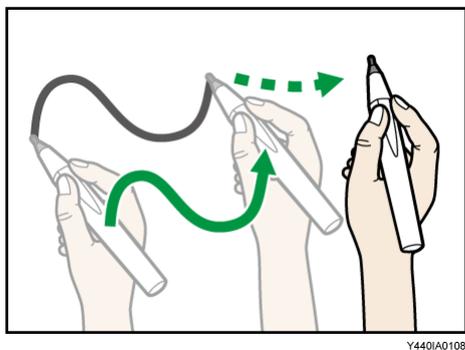


1. 色
2. 太さ
3. 入力モード

1.  をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2.  をタッチします。
3. 書き込む線の色と太さをサブメニューから選択します。
4. ディスプレイにタッチし、そのまま動かします。



クラウドミーティングのときは、線には書いた人の名前が数秒間、表示されます。

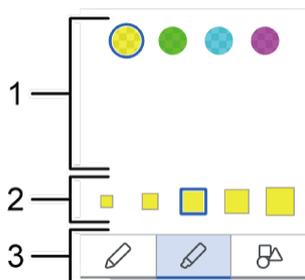
↓ 補足

書き込める線の数には最大で、1 ページあたり 3000、全ページで 90000 です。

ホワイトボード画面に蛍光ペンで書き込む

フリーハンドで線を書き込みます。

蛍光ペン入力モードのサブメニュー

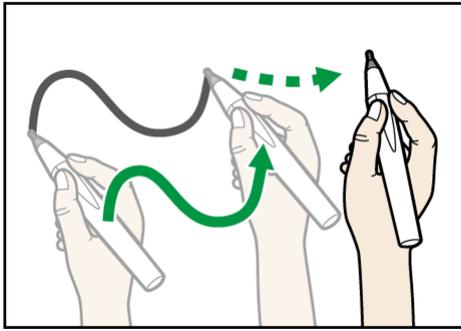


1. 色
2. 太さ
3. 入力モード

1.  をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2.  をタッチします。
3. 書き込む線の色と太さをサブメニューから選択します。
4. ディスプレイにタッチし、そのまま動かします。



Y440/A0108

クラウドミーティングのときは、線には書いた人の名前が数秒間、表示されます。

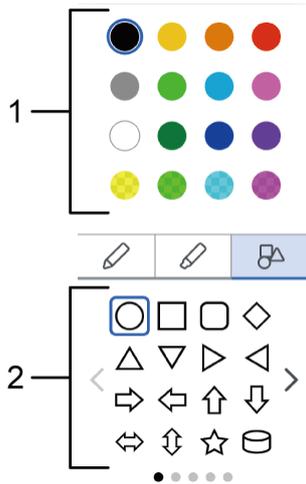
↓ 補足

書き込める線の数には最大で、1 ページあたり 3000、全ページで 90000 です。

ホワイトボード画面にスタンプを書き込む

スタンプを一覧から選択して書き込みます。

スタンプ入力モードのサブメニュー



1. 色

2. 種類

1. をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2. をタッチします。

3. 書き込むスタンプの色と種類をサブメニューから選択します。

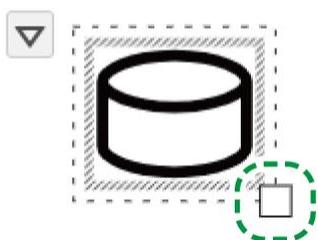
<と>をタッチしてスタンプの一覧ページを切り替えることができます。

4. ディスプレイにタッチします。

選択したスタンプがタッチした場所に書き込まれます。

5. 必要に応じて拡大・縮小します。

オブジェクト拡縮ハンドルをタッチし、そのまま動かします。



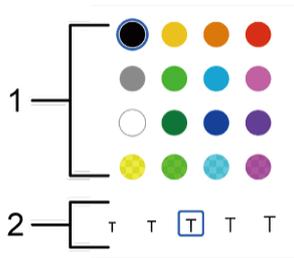
↓ 補足

- スタンプのときは線の太さを選択できません。
- 書き込めるスタンプの数は最大で、1 ページあたり 50、全ページで 500 です。
- カスタムスタンプを登録できます。詳しくは、P.85 「ホワイトボード設定」を参照してください。

ホワイトボード画面にテキストを入力する

テキストボックスにテキストを入力します。

テキスト入力のサブメニュー



1. 色

2. 文字サイズ

1. **T**をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2. 書き込むテキストの色と文字サイズをサブメニューから選択します。

3. 画面にタッチします。

テキストボックスとタッチキーボードが表示されます。

4. テキストを入力します。

Tをタッチするとコンテキストメニューが表示され、テキストの色と文字サイズを変更できます。

5. 必要に応じてテキストボックスの幅を変更します。

テキストボックスの右端をタッチし、そのまま動かします。

6. テキストボックスの外をタッチします。

入力したテキストが確定します。

↓ 補足

- 書き込めるテキストボックスの数は最大で、1 ページあたり 30、全ページで 300 です。
- タッチキーボード左上のメニューで [手書き] を選択すると、手書きした文字をテキストに変換して入力できます。

ホワイトボード画面に書き込んだ内容を選択して編集する

書き込んだ内容を選択して、編集できます。

一部の書き込みを選択する

2

1.  をタッチします。
2. 編集したい書き込みをタッチします。



タッチした書き込みが選択されます。

↓ 補足

書き込みの近くをタッチし、そのまま動かして編集したい範囲を指定して選択もできます。

すべての書き込みを選択する

1.  をタッチします。
サブメニューが表示されます。
2. [すべて選択する] をタッチします。
表示しているページ内のすべての書き込みが選択されます。

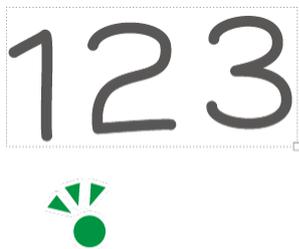
書き込みを移動する

書き込んだ内容を選択して、移動します。

1. 移動する書き込みを選択します。
2. 選択範囲内にタッチし、そのまま動かします。



3. 選択した書き込み以外にタッチします。



選択が解除されます。

書き込みを拡大または縮小する

書き込んだ内容を選択して、拡大または縮小します。

1. 拡大または縮小する書き込みを選択します。
2. 選択枠右下のオブジェクト拡縮ハンドルをタッチし、そのまま動かします。



3. 選択した書き込み以外にタッチします。



選択が解除されます。

書き込みを切り取りまたはコピーして貼り付ける

書き込んだ内容を選択して切り取りまたはコピーして、別の位置に貼り付けます。

1. 切り取りまたはコピーする書き込みを選択します。

2.  をタッチします。

コンテキストメニューが表示されます。

3. [切り取る] または [コピーする] をタッチします。

4.  をタッチします。

サブメニューが表示されます。

5. [貼り付ける] をタッチします。

6. 貼り付けたい位置にタッチします。

切り取りまたはコピーした書き込みが貼り付けられます。

7. 選択した書き込み以外にタッチします。



選択が解除されます。

書き込みの色を変更する

書き込んだ内容を選択して、色を変更します。

1. 色を変更する書き込みを選択します。

2.  をタッチします。

コンテキストメニューが表示されます。

3. [色を変更する] をタッチします。

4. 色を選択します。

書き込みが選択した色に変更されます。

5. 選択した書き込み以外にタッチします。



選択が解除されます。

ホワイトボード画面に書き込んだ内容を削除する

書き込んだ内容を選択して、削除します。

一部の書き込みを削除する

1. をタッチします。
2. 削除する書き込みにタッチするか、消す範囲をなぞります。

2

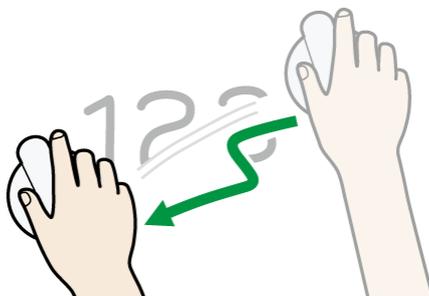


書き込みが削除されます。テキストは、テキストボックスごと削除されます。

イレーサーで削除する

書き込んだ内容をイレーサーで削除します。

1. イレーサーでディスプレイに触れます。
2. ディスプレイに触れたまま、書き込んだ内容と交差させます。



交差した書き込みが削除されます。

すべての書き込みを削除する

表示しているページのすべての書き込みを削除します。

1. をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2. [すべて削除する] をタッチします。
3. [削除] をタッチします。

表示しているページのすべての書き込みが削除されます。

ホワイトボード画面にマーカーを書き込む

2

マーカーとは、画面に書き込んだ半透明の太い線のことです。書き込んでから数秒で自動的に消去されます。書き込んだ内容や表示した映像の着目させたい箇所を指し示すときに便利です。

1.  をタッチします。
2. ディスプレイにタッチし、そのまま動かします。



Y453IX0003

参加しているすべての機器でマーカーを書き込め、すべての機器に表示されます。クラウドミーティングのときは、マーカーには書いた人の名前が数秒間、表示されます。

ホワイトボード画面に書き込んだ操作を元に戻す

書き込みや移動、削除などの操作は元に戻せます。また元に戻した操作のやり直しもできます。

1. の上部をタッチします。

2. 元に戻した操作をもう一度やり直すときは、の下部をタッチします。

↓ 補足

- 現在表示されているページでの自分の操作だけを、元に戻したりやり直したりできます。
- 操作は 100 回まで、元に戻したりやり直したりできます。
- 以下の操作は元に戻したりやり直したりできません。
 - 自分の書き込んだ内容であっても、会議のほかの参加者が移動や編集などをしたとき
 - ページ操作
 - ページを跨いだ書き込み
 - 一度ページを切り替えて元のページに戻ったときの、元のページでの操作

ホワイトボード画面を PDF でメール送信する

ホワイトボード画面に書き込んだ内容やキャプチャーした画面を、PDF ファイルにしてメールで送信できます。

★ 重要

内蔵 Windows で既定に設定されているメールアプリが起動します。事前にメールアプリへのアカウント登録などの初期設定が必要です。画面の下からスワイプして表示する内蔵 Windows のメニューで、Outlook などの既定のメールアプリ名を入力して直接メールアプリを起動して、初期設定ができます。

1. をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2. [PDF をメール送信] をタッチします。

3. [OK] をタッチします。

エクスプローラーとメールアプリが起動します。

4. PDF ファイルをエクスプローラーからメールアプリへドラッグアンドドロップします。

5. 宛先と件名を入力して送信します。

↓ 補足

- 複数のページも、1つのPDFファイルとして保存されます。
- 本製品で保存したPDFファイルは、コラボレーションボードで読み込んでも、再編集はできません。
- ミーティングにパスワードが設定されているときは、PDFファイルを開くパスワードに同じパスワードが設定されます。

保存されるPDFファイルの仕様

PDFファイルは以下のように保存されます。

ファイル名（ファイル名を変更しないとき）

YYYYMMDDHHMMSS_ [ミーティング名の先頭30文字まで] .pdf

2024年1月23日4時56分7秒に「打ち合わせ」という会議名のホワイトボード画面を保存したときのファイル名は、「20240123045607_打ち合わせ.pdf」です。

PDFバージョン

1.7 Adobe Extension Level 3

ページサイズ

677.3×381.0 mm (1920×1080px)

ホワイトボード画面に PDF を読み込む

PDF ファイルを読み込んで本機の画面に表示できます。

PDF ファイルは、USB メモリもしくは Microsoft 365 と連携している SharePoint、OneDrive、Box からホワイトボードに表示することができます。

対応するファイルの条件は以下のとおりです。

項目	条件
ファイルサイズ	100MB 以下
PDF バージョン	PDF バージョン 1.3-1.7 (PDF/A を含む)
ページサイズ	A0 サイズ以下
文書のセキュリティ	セキュリティ設定がされていないこと※1

*1 パスワード付きの PDF の読み込みは保証していません。また、読み込んで印刷することを防止するために、印刷禁止の設定された PDF は読み込めません。ただし、RICOH Collaboration BoardW7500/W6500/W5500 が出力したパスワード付き PDF は読み込めます。

USB メモリもしくはローカルストレージから PDF を読み込む

1. USB メモリからファイルを読み込むときは、ディスプレイ側面の USB ポートに USB をメモリをセットします。
2. [ホワイトボードを使う] にタッチします。
3.  (その他のメニュー) の [PDF 読み込み] にタッチします。



4. 表示される画面で読み込むファイルを選択し、[開く] にタッチします。

読み込みが完了すると、画面に読み込み完了のメッセージが表示されます。

Microsoft 365 連携オプションから PDF を読み込む

1. ホーム画面の [ファイルを開く] にタッチします。

詳しくは、P.15 「ホーム画面の見かた」を参照ください。

2. 読み込みたい PDF を置いている、Microsoft 365 連携オプションを選択してタッチします。
3. 表示させたい PDF を選択し、[PDF をホワイトボードに読み込む] にタッチします。

選択したファイルのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後にホワイトボードに PDF が表示されます。

会議スケジュールの添付ファイルから PDF を読み込む

1. 会議のスケジュール一覧から該当のスケジュールを選択します。

スケジュールの詳細が表示されます。

スケジュール一覧の表示方法は、P.15「ホーム画面の見かた」の [Web 会議を開始する] を参照ください。

2. スケジュールの詳細から、表示したい添付ファイルを選択します。
3. [PDF をホワイトボードに読み込む] をタッチします。

選択したファイルのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後にホワイトボードに PDF が表示されます。

↓ 補足

- 画像はフルサイズで貼り付けられます。
- 読み込み完了後は、読み込んだページの 1 ページ目を表示します。
- 読み込んだ画像はテンプレート同様に背景画像として張り付けられます。
- ファイルの条件を満たさないページがあったときは、全てのページを見込んだあと、読み込みできないページがあったことが画面に表示されます。
- 本機に読み込みできる最大ページ数は 100 ページです。すでにあるキャプチャーページと、読み込む一時保存ファイルのページの合計が 100 ページを超えるときは、100 ページ目までが読み込まれます。
- データが全て読み込めなかったときは、画面にメッセージが表示されます。

ミーティングのリンクをメール送信する

ミーティングのリンクをメールで送信します。

★重要

- ・ 内蔵 Windows で既定に設定されているメールアプリが起動します。事前にメールアプリへのアカウント登録などの初期設定が必要です。画面の下からスワイプして表示する内蔵 Windows のメニューで、Outlook などの既定のメールアプリ名を入力して直接メールアプリを起動して、初期設定ができます。
- ・ クラウドホワイトボードのときだけメール送信できます。

1.  をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2. [URL をメール送信] をタッチします。

3. [OK] をタッチします。

メールアプリが起動します。

4. 宛先と件名を入力して送信します。

ホワイトボード画面を保存する

ホワイトボード画面に書き込んだ内容やキャプチャーした画面は、クラウドに自動的に保存され、180 日で消去されます。ローカルで保存して管理したり、PDF で配布したいときは、コンピューターに保存できます。

1.  をタッチします。

サブメニューが表示されます。

2. [PDF 保存] をタッチします。
3. [保存] をタッチします。
4. 保存先を選択します。
5. ファイル名を入力します。
6. [保存] をタッチします。
7. [OK] をタッチします。

↓ 補足

- 複数のページも、1つのPDFファイルとして保存されます。
- 本機で保存したPDFファイルは、コラボレーションボードで読み込んでも、再編集はできません。
- 保存されるPDFファイルの仕様は、P.45「保存されるPDFファイルの仕様」を参照してください。

ホワイトボード画面を印刷する

ホワイトボード画面に書き込んだ内容やキャプチャーした画面は、印刷できます。

★ 重要

事前に管理者によるプリンタードライバーのインストールが必要です。

1.  をタッチします。
サブメニューが表示されます。
2. [印刷] をタッチします。
3. [OK] をタッチします。
4. プリンター・用紙サイズ・用紙の向きなどを選択し、印刷を実行します。

表示倍率を変更する／表示位置を移動する

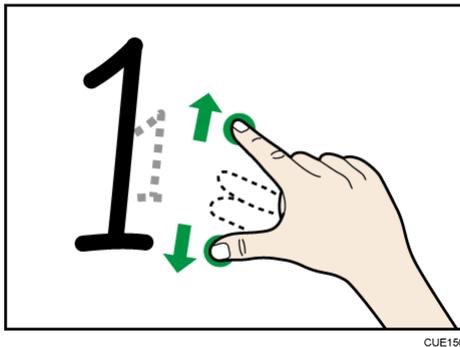
表示しているページの表示倍率の変更や拡大したページの表示位置の移動には、指で画面にタッチして操作します。

★重要

- ・ 複数の人で同時に書き込める状態のときは、この操作はできません。必ず「ホワイトボード設定」の「複数同時書き込みを有効にする（二本指での操作はできない）」のチェックを外してから操作してください。「ホワイトボード設定」については、P.23「ホワイトボードアプリ画面に表示されるアイコン」を参照してください。

表示倍率を変更する

2本の指で画面にタッチし、2本の指の間隔を広げたり、縮めたりします。

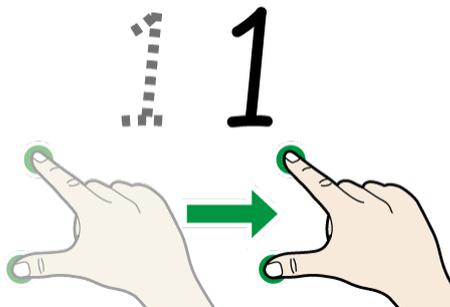


CUE150

- ・ 指の間隔を広げると、タッチした場所を中心に拡大表示します。
- ・ 指の間隔を縮めると、タッチした場所を中心に縮小表示します。

表示位置を移動する

2本の指で画面にタッチし、指の間隔を維持したまま上下左右に移動します。



指の移動にあわせて、表示位置が移動します。

ページを操作する

新規ページの追加や削除などのページ操作について説明します。

ページを追加する

2

1.  をタッチします。

空白の新しいページがページリストの末尾に作成されます。作成したページが表示されます。

↓ 補足

- 最大で 100 ページまで作成できます。

ページを移動する

1.  または  をタッチします。
 - 次のページに切り替えるときは、 をタッチします。
 - 前のページに切り替えるときは、 をタッチします。

サムネイルからページを移動する

複数のページを作成したとき、ページのサムネイルからページを選択して、表示するページを移動します。

1.  をタッチします。

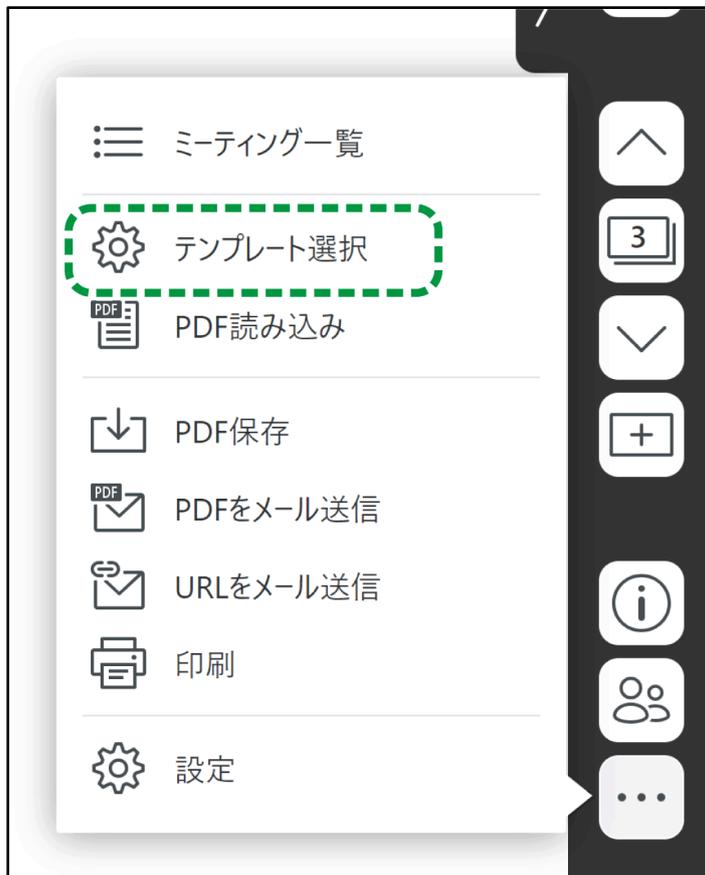
ページのサムネイルが表示されます。
2. 表示したいページのサムネイルをタッチします。

サムネイルをタッチしたページが表示されます。

テンプレートを選択する

本機に登録しておいたテンプレートを、新規ページに適用できます。

1.  (その他のメニュー) にタッチします。
2. [テンプレート選択] にタッチします。



3. テンプレート画像の一覧から、使用するテンプレートを選択します。
6種類のテンプレートがあらかじめ登録されています。
4. [OK] にタッチします。
ページリストの末尾に、選択したテンプレートが新規ページに適用されます。

↓ 補足

新規で追加されるページにはデフォルトテンプレートが適用されます。

ページを削除する

複数のページを作成したとき、特定のページを指定して削除します。

1.  をタッチします。

ページのサムネイルが表示されます。

2. 削除したいページのサムネイルをタッチします。

サムネイルに  が表示されます。

3.  をタッチします。

4. [削除] をタッチします。

ページが削除されます。

ホワイトボードアプリを終了する

1. ミニランチャーのホワイトボードアプリのアイコンをタッチして、[アプリ終了]をタッチします。



3. 外部アプリケーションでミーティングに参加する

Microsoft Teams などの外部アプリケーションでミーティングに参加する方法を説明します。

★重要

事前に管理者設定画面でアプリケーションの登録が必要です。詳しくは、P.84「ランチャー設定」を参照してください。

3

外部アプリケーションを起動する

1. ホーム画面で、[アプリケーションを使う] をタッチします。

アプリケーションの一覧が表示されます。

2. 起動するアプリケーションをタッチします。

アプリケーションが起動して、ミニランチャーにアプリケーションのアイコンが表示されます。

カメラとマイクを設定する

外部アプリケーションでミーティングに参加するときに必要な設定を説明します。

カメラの設定

オプションのカメラユニットは、Gesture Pointer が使用します。カメラで撮影した映像をミーティングで使用するときは、アプリケーションのビデオ設定画面で、
[Open Virtual Camera] を選択します。

3

マイクの設定

アプリケーションのマイク設定画面で、[Cap (RIWB_RERIES)] を選択します。

↓ 補足

オプションのカメラユニットの解像度は変更できます。詳しくは、P.81「システム設定」を参照してください。

4. ホワイトボードアプリ以外の画面に書き込む

アノテーションを使用して、本機に接続した外部機器の映像や、文書ファイルの表示、Web ページなどの画面に書き込めます。

アノテーションでは、次の操作ができます。

- ペンで書き込む
- マーカーで書き込む
- 書き込んだ内容を削除する
- 書き込んだ操作を元に戻す

アノテーションを開始する

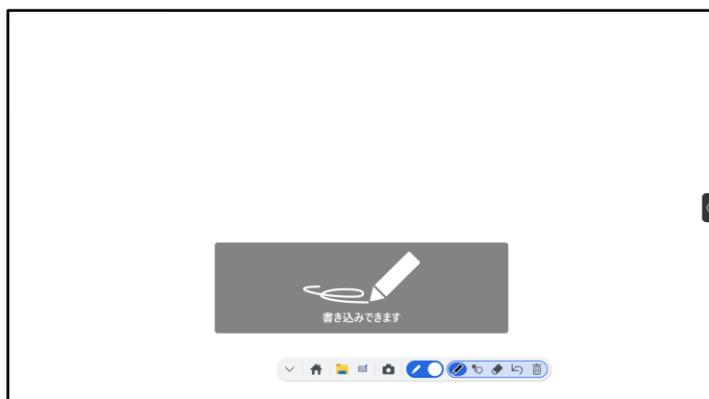
ここでは、ホーム画面でアノテーションを使用するときを例に説明します。

1. 書き込みたい画面を表示します。

- 外部機器の画面へ切り替える方法は、P.67「機器を接続して使用する」を参照してください。
- 本機または USB メモリーに保存したファイルを表示するときは、ホーム画面の [ファイルを開く] をタッチします。

2. ミニランチャーの をタッチします。

アノテーションツールバーが表示されます。



アノテーション画面に表示されるアイコン

アイコン	説明
	<p>ストロークを書き込むときに使用します。書き込む線の色を書き込み設定で選択できます。</p> <p>目 参照</p> <p>P.61 「アノテーションを使用してペンで書き込む」</p>
	<p>マーカーを書き込むときに使用します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.62 「アノテーションを使用してマーカーを書き込む」</p>
	<p>書き込んだストロークを削除するときに使用します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.63 「アノテーションで一部の書き込みを削除する」</p>
	<p>ストロークの書き込み、削除を元に戻すときに使用します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.65 「アノテーションを使用して書き込んだ操作を元に戻す」</p>
	<p>ページ内のすべての書き込みを削除するときに使用します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.64 「アノテーションですべての書き込みを削除する」</p>

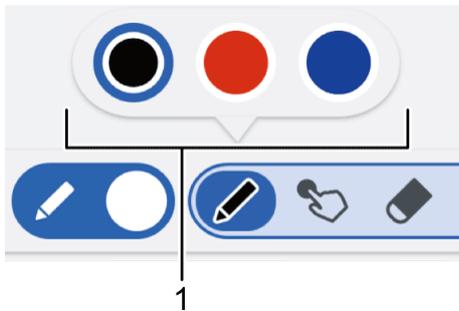
アノテーションを使用して線やマーカを書き込む

アノテーションでは、ツールが起動した直後から書き込みができます。書き込みは複数の人で同時に書き込み可能な状態になります。

アノテーションを使用してペンで書き込む

フリーハンドで線を書き込みます。

アノテーションの書き込み設定

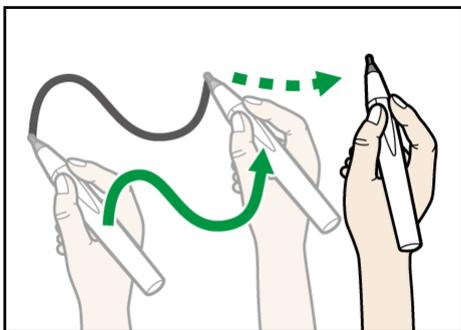


1. 色

1.  にタッチします。

アノテーションの書き込み設定が表示されます。

2. 必要に応じて書き込む線の色を選択します。
3. ペンをディスプレイにタッチし、そのまま動かします。



Y440/A0108

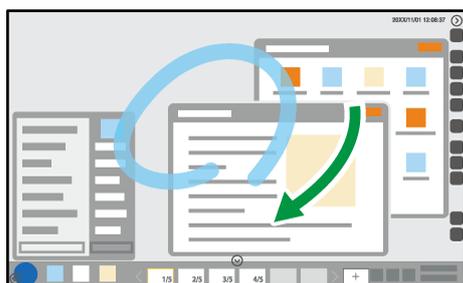
↓ 補足

書き込める線の数最大で 3000 です。

アノテーションを使用してマーカを書き込む

マーカとは、画面に書き込んだ半透明の太い線のことです。書き込んでから数秒で自動的に消去されます。書き込んだ内容や表示した映像の着目させたい箇所を指し示すときに便利です。

1.  をタッチします。
2. 画面にタッチし、そのまま動かします。



Y453IX0003

アノテーションを使用して書き込んだ内容を削除する

削除には次の方法があります。

- 書き込みをタッチするかなぞって削除する
- イレーサーで削除する
- 表示しているページのすべての書き込みを削除する

アノテーションで一部の書き込みを削除する

4

1.  をタッチします。
2. 削除する書き込みにタッチするか、消す範囲をなぞります。

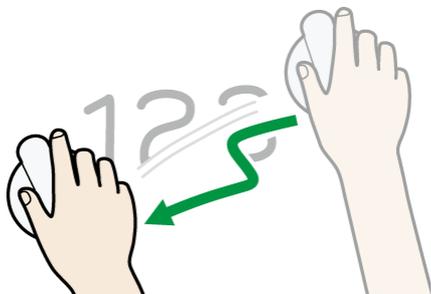


書き込みが削除されます。

アノテーションでイレーサーで削除する

書き込んだ内容をイレーサーで削除します。

1. イレaserでディスプレイに触れます。
2. ディスプレイに触れたまま、書き込んだ内容と交差させます。



交差した書き込みが削除されます。

4

アノテーションですべての書き込みを削除する

表示しているページのすべての書き込みを削除します。

1.  をタッチします。
2. [削除] をタッチします。

表示しているページのすべての書き込みが削除されます。

アノテーションを使用して書き込んだ操作を元に戻す

書き込みや削除の操作は元に戻せます。

1.  をタッチします。

5. 機器を接続して使用する

機器を接続して使用方法を説明します。

外部機器を接続する

本機に外部機器を接続して、機器の映像を本機に表示したり、表示した映像に書き込みができます。

また、タッチモジュールに対応している本機のポートとコンピューターを USB ケーブルで接続すると、本機でコンピューター画面を操作できます。

↓ 補足

- 本機の入出力端子の位置と種類については、『はじめにお読みください』「各部の名称とはたらき」を参照してください。
- タッチモジュールの接続については、『はじめにお読みください』「タッチモジュールの接続」を参照してください。

オーディオ／ビデオ信号の接続

ケーブルを接続するときは次の点に注意してください。

- 本機のオーディオ／ビデオポートと使用する機器について確認しておいてください。接続を間違えると画質が低下したり、映像が表示されないことがあります。
- ケーブルを抜くときはケーブルを引っ張らないでください。常にケーブル端のコネクターを持って引き抜いてください。
- すべてのケーブルは奥まで確実に差し込んでください。

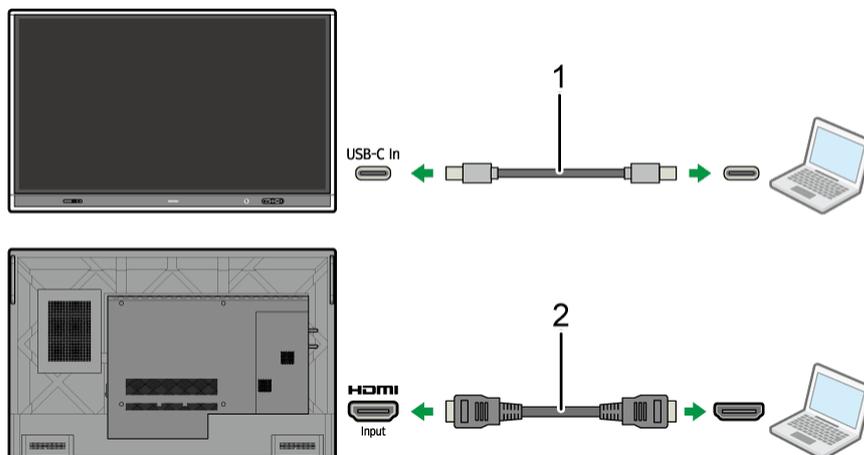
デジタル入力の接続

HDMI ケーブルまたは USB Type-C ケーブルからの入力画像を表示します。

1. コンピューターまたは、ビデオデッキや DVD プレーヤーなど A/V 機器の HDMI 出力ジャックと本機左側面の HDMI Input ポートを、同梱の HDMI ケーブルで接続し

まず、USB Type-C 出力ジャック付きの機器であれば、同梱の USB Type-C ケーブルを本機前面の USB-C In ポートに接続します。

本機には左側面に HDMI Input ポートが 3 つあります。HDMI ケーブルで接続するときは、3 つのいずれかに接続します。



1. 同梱の USB Type-C ケーブル

2. 同梱の HDMI ケーブル

2. ソースを [Computer In]、[HDMI1]、[HDMI2]、または [USB-C] にします。

ケーブルを接続した本機の HDMI Input ポートに応じてソースを選択してください。

HDMI Input ポート	ソース名
HDMI Input (Computer In)	[Computer In]
HDMI Input 1	[HDMI1]
HDMI Input 2	[HDMI2]

↓ 補足

本機前面の USB-C In ポートには、2 つの機能があります。

1. コンピューターなどを接続すると自動的に [Computer In] として認識され、接続した機器の画面が表示されます。

この画面にはアノテーションを使用して書き込んだり、画面を撮影してホワイトボードに取り込んだりできます。また、アノテーションツールバーを非表示にすると、接続した機器をタッチ操作で使用できます。

2. ソースを [USB-C] に切り替えると、シンプルなタッチディスプレイとして動作します。

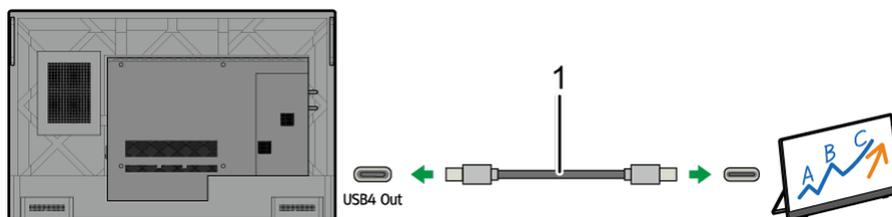
アノテーションは使用できません。

DisplayPort オルタネートモード対応機器の接続

5

USB Type-C の DisplayPort オルタネートモードに対応している機器へ映像を出力できます。

1. DisplayPort オルタネートモードに対応している機器の USB Type-C ポートと本機の USB4 Out ポートを、同梱の USB Type-C ケーブルで接続します。

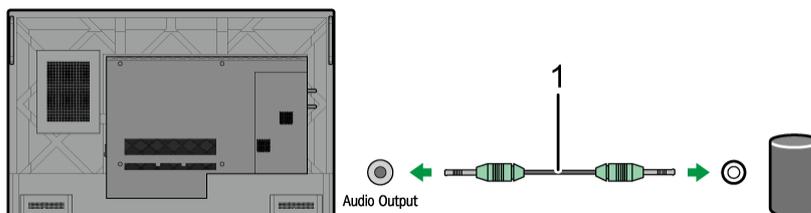


1. 同梱の USB Type-C ケーブル

外部スピーカーの接続

本機の内蔵アンプから外部スピーカーにオーディオ信号を出力できます。

1. 外部スピーカーを本機の Audio Output ポートに接続します。



1. オーディオケーブル

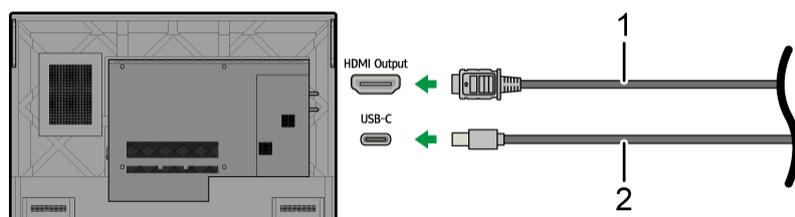
↓ 補足

- 外部スピーカーを接続するときは、アクティブスピーカーを使用してください。
- オーディオケーブルは同梱されていません。別途お買い求めください。
- 外部スピーカーに接続したときは、本機前面またはリモコンの音量ボタンで音量調節できません。接続した外部スピーカーで調節してください。

外部機器への電源供給

本機とワイヤレスディスプレイアダプターなどの外部機器を同梱の USB Type-C ケーブルで接続し、外部機器に給電できます。

5



1. 外部機器（例：HDMI 接続のワイヤレスディスプレイアダプター）
2. 同梱の USB Type-C ケーブル

コンピューターやタブレットを接続する

コンピューターやタブレット、書画カメラなどを本機に接続し、機器の映像を本機に表示できます。表示した画面にアノテーションで書き込んだり、画面を撮影してホワイトボードに取り込むことができます。



1. 本機左側面の HDMI Input (Computer In)ポートまたは本機前面の USB-C In ポートに、機器を接続します。
2. ソースを [Computer In] にします。
3. 接続した機器で本機のカメラやマイクを使用するときは、カメラマイク切り替えアイコンをタッチして、「カメラ/マイクの利用先設定」の「接続中の PC 等で本機のカメラ/マイクを利用する」にチェックを付けます。

↓ 補足

- 接続については、P.67「デジタル入力の接続」を参照してください。
- HDMI Input (Computer In)ポートと USB-C In ポートの両方に機器を接続したときは、入力切替ボタンが表示され、接続を切り替えられます。
- 接続した機器で本機のカメラを使用している間は、Gesture Pointer は使用できません。Gesture Pointer については、P.74「オプションのカメラユニットを使用する」を参照してください。
- 無線接続するときは、ホーム画面の「ディスプレイとして使う」を参照してください。ホーム画面については、P.15「ホーム画面の見かた」を参照してください。
- Windows コンピューターを BYOM で接続するときは、コンピューターにアプリをインストールして、起動してください。アプリのインストールは、ホーム画面の「ディスプレイとして使う」の [BYOM 接続] をタッチして、表示される URL を参

照してください。無線 BYOM で接続するときは、P.72 「Windows コンピューターを無線 BYOM で接続する」を参照してください。

- アノテーションについては、P.59 「ホワイトボードアプリ以外の画面に書き込む」を参照してください。
- 画面を撮影してホワイトボードに取り込む方法については、P.17 「ミニランチャーに表示されるアイコン」を参照してください。

Windows コンピューターを無線 BYOM で接続する

Windows コンピューターにインストールした BYOM アプリケーションを使用して本機と無線で接続すると、次の機能が使用できます。

- コンピューターで本機のカメラ・マイク・スピーカーを使用する
- コンピューターの映像を本機に表示する
- コンピューターの画面を本機で操作する
- コンピューターで本機を操作する

この機能を使用するには、事前に設定が必要です。

Microsoft Teams などの外部アプリケーションでの設定

スピーカーの設定

アプリケーションのスピーカー設定画面で、コンピューターのスピーカーを選択します。

マイクの設定

アプリケーションのマイク設定画面で、「Conference Mic」を選択します。

カメラの設定

アプリケーションのカメラ設定画面で、「Conference Camera」を選択します。

本機の BYOM アプリケーションでの設定

オプションのカメラユニットで撮影した映像をミーティングで使用するときは、アプリケーションのカメラ設定画面で、「Open Virtual Camera」を選択します。

オプションのカメラユニットを使用する

オプションのカメラユニットを設置すると、Gesture Pointer が使用できます。Gesture Pointer は、画面を指さしてポインターを表示する機能です。

画面に人差し指を向けると画面にポインターを表示し、指をさしている人の顔が画面の右上に表示されます。ミーティングの出席者が本機から離れた場所においても、画面の意図した場所を指し示すことができます。

ローカルミーティングでもクラウドミーティングでも使用できます。ポインターはリモート会議の相手にも表示されます。

↓ 補足

設置方法は、カメラユニットの『設置手順書』を参照してください。

Gesture Pointer の設定

カメラを接続すると、Gesture Pointer の設定が有効になります。

無効になっているときは、設定画面で有効にするか、リモコンの [Gesture] ボタンを押します。

設定画面については、P.79「設定画面を表示する」を参照してください。

カメラのオンスクリーンディスプレイメニュー

カメラの映像を映せるアプリケーションを起動しているときにリモコンの [Camera] ボタンを押すと、カメラのオンスクリーンディスプレイメニューが表示されます。

カメラのモードを変更する

1. カメラのオンスクリーンディスプレイメニューを表示します。
2. [Mode] > [Mode select] の順に選択します。
3. 使用するモードを選択します。

【オートフレーミング】

カメラに写っている人物の範囲に応じて、自動的に画角を変更します。

【マルチスクリーン】（デフォルト設定値）

カメラに写っている人物の顔を切り出して、画面の上隅に表示します。（最大 8 人、[ZoomRooms] モードのときは最大 3 人）

【スピーカービュー】

発話している人物にフォーカスします。

【パノラミックモード】

全体を映します。

↓ 補足

Gesture Pointer を使用するときには、[マルチスクリーン] または [パノラミックモード] を選択することを推奨します。

Zoom Rooms でカメラユニットを使用するとき

Zoom Rooms オプションを購入したお客様がカメラユニットを使用するときには、次の設定をしてください。

1. カメラのオンスクリーンディスプレイメニューを表示します。
2. [System] > [ZoomRooms] の順に選択します。
3. [ON] を選択します。

カメラが再起動して、Zoom Rooms 用の画質設定に切り替わります。

タッチスクリーンを使用する

タッチモジュールに対応している本機のポートとコンピューターの USB ポートを USB ケーブルで接続すると、タッチ操作でコンピューターを操作できます。

Windows

指でのタッチや、ペンやイレーサーを使用して、Windows のアプリケーションの機能に準じた操作ができます。

Mac

マウスと同じように指で操作できます。

対応 OS については、P.162 「仕様」を参照してください。

5

タッチスクリーンを使用するときの重要な注意事項

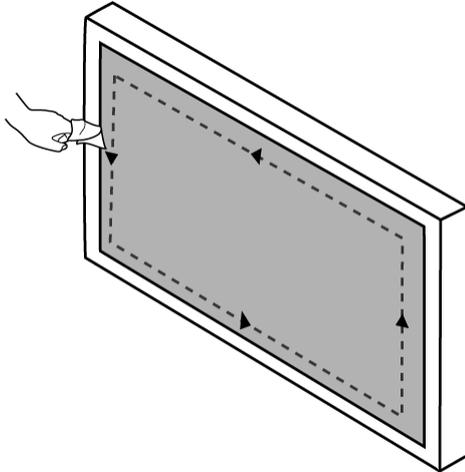
⚠ 注意



• お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

- タッチ操作をするときの機器の接続については、『はじめにお読みください』「タッチモジュールの接続」を参照してください。
- OS の種類によっては、マルチタッチに対応する OS とシングルタッチのみ対応する OS があります。
- マルチタッチ操作の詳細は、使用する Windows コンピューターの使用説明書などを参照してください。
- アプリケーションによっては、タッチ操作の挙動が異なることがあります。使用するアプリケーションの使用説明書を参照してください。
- Windows コンピューターに本機と別のモニターを同時に接続しているとき、タッチ入力信号が混同されることがあります。（例えば、本機のタッチスクリーンをタッチしたのに、別のモニターのカーソルが動くなど。）

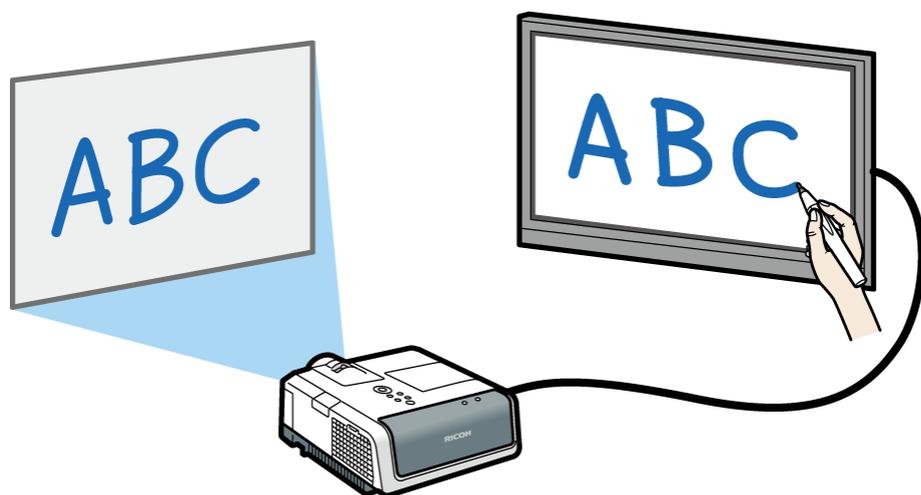
- 本機と Windows コンピューターを接続した状態で、Windows の「タブレット設定」のセットアップを実行してください。
- タッチスクリーンに直射日光や強い光を当てないでください。
- タッチスクリーンの動作不良の兆候が見られたときは、ディスプレイや、ベゼルの内側を清掃してください。
 - ディスプレイを清掃する前に、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。
 - ディスプレイや、ベゼルの内側のホコリや汚れを定期的に取り除いてください。清掃には、清潔な柔らかい布などを用いてください。



- ディスプレイが傷つくので、絶対に研磨剤では拭かないでください。
- ディスプレイや本体に中性洗剤を直接吹きかけないでください。タッチスクリーンがショートするおそれがあります。

プロジェクターで画面を投影する

本機にフル HD 対応のプロジェクターを接続して、本機の画面をプロジェクターで投影できます。



5

★重要

- ・ プロジェクターの VGA などのアナログ端子と接続することはできません。

接続するプロジェクターは、リコー製フル HD 対応のプロジェクターを推奨します。対応機種はリコーのホームページで確認してください。

1. 本機の HDMI Output ポートにプロジェクターを接続します。
2. プロジェクターで画面を投影します。

プロジェクターの投影方法はプロジェクターの使用説明書を参照してください。

6. 各種設定を確認・変更する

本機の各種設定を変更する方法を説明します。

設定画面を表示する

設定画面では、本機の各種設定を変更できます。

1. ホーム画面の「設定」をタッチします。

設定画面が表示されます。

設定画面の項目

★重要

- ・ 設定を変更したときは、本機の再起動が必要なことがあります。

Gesture Pointer

オプションのカメラユニットを接続しているときに、Gesture Pointer を使用するかどうかを設定します。Gesture Pointer については、P.74「オプションのカメラユニットを使用する」を参照してください。

↓補足

管理者設定で「Gesture Pointer を利用する」を有効にしているときだけ表示されません。

ワイヤレスディスプレイ接続

ワイヤレスディスプレイと接続するときは、「接続」をタッチして、接続するワイヤレスディスプレイを選択します。

高度な設定

デバッグログのアップロード

本機で問題が発生してデバッグログをサーバーにアップロードするときは、「アップロード」をタッチします。

↓ 補足

管理者設定で本機をデバイス登録しているときだけ表示されます。

Windows アカウント切り替え

管理者設定を変更するときに、Windows アカウントを切り替えます。

ライセンス情報

OSS ライセンスの情報を表示します。

バージョン情報

バージョン情報を表示します。

機番情報

機番情報を表示します。

管理者設定アプリを起動する

RICOH Collaboration Board 管理者設定アプリで、管理者だけが変更できる設定を表示します。

1. 設定画面を表示して、**【Windows アカウント切り替え】** をタッチします。

詳しくは、P.79「設定画面を表示する」を参照してください。

2. **【OK】** をタッチします。
3. 管理者アカウントでサインインします。
4. デスクトップの管理者設定アプリのショートカットを実行します。

管理者設定アプリが起動します。

管理者設定画面の項目

6

★重要

- ・ 設定を変更したときは、本機の再起動が必要なことがあります。

システム設定

デバイス名

本機のデバイス名が表示されます。デバイス名を変更するときは、**【変更】** をタッチして、デバイス名を入力します。

↓補足

デバイス名を変更したときは、デバイス認証が可能な状態でホーム画面を表示してから最大 10 分間は、変更が反映されないことがあります。

デバイス登録

本機をテナントにデバイス登録するときは、**【登録】** をタッチして、テナント管理者のアカウントでログインします。

プロキシ認証が必要なプロキシサーバーに接続しているときは、ログインページが開けないため、内蔵 Windows で認証情報の設定が必要です。

1. [コントロール パネル] > [ユーザー アカウント] > [資格情報マネージャー] を開きます。
2. 「Windows 資格情報」の「汎用資格情報」を追加します。
3. タスクバーのネットワーク設定で、接続先のプロキシサーバーのサインイン情報を入力します。

↓ 補足

- テナントに登録されたデバイスの解除は、EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のテナント管理サイトから実施できます。
https://na.accounts.ricoh.com/help/jp/ja/operation_guide_admin/int/a0022.htm
- デバイス登録を解除するときは、テナント管理者のアカウントで一度 RICOH Collaboration Board Cloud Client にログインが必要です。一度もログインしない状態だと、デバイス登録の解除が正常に実施できません。

プロキシ設定

★ 重要

- 内蔵 Windows の設定画面を直接開いて設定しても、「プロキシ設定」は正しく反映されません。必ず管理者設定アプリの「プロキシ設定」で [開く] をタッチして開いた設定画面で設定してください。
- 安全に使用するために、プロキシ認証のユーザー名とパスワードは個人のアカウントではなく、本機用に作成したアカウントを使用してください。
- プロキシが必要な環境では、[開く] をタッチして、プロキシを設定します。
 - 「設定を自動的に検出する」には非対応です。
 - 「ローカル (イントラネット) のアドレスにはプロキシ サーバーを使わない」のチェックを付けてください。
- プロキシ認証が必要な環境では、[変更] をタッチして、ユーザー名とパスワードを入力します。

↓ 補足

- プロキシ設定をしたあとに初めてログインするときに、Microsoft Edge が起動して「このサイトにアクセスするにはサインインしてください」と表示されることがあります。正しい資格情報を入力してサインインすると、その後は表示されなくなります。

Gesture Pointer

- Gesture Pointer を使用するときは、「Gesture Pointer を利用する」を有効にします。
- 他のアプリケーションからオプションのカメラユニットを使用できないときは、「Gesture Pointer 利用時のオプションカメラの解像度を FHD にする」を有効にすると、使用できるようになることがあります。

↓ 補足

Gesture Pointer については、P.74 「オプションのカメラユニットを使用する」を参照してください。

設定エクスポート

管理者設定をエクスポートするときは、[エクスポート] をタッチして、設定ファイルを保存します。エクスポートした設定ファイルは、他の機器の以下のフォルダーにコピーしてインポートできます。インポートすると設定ファイルは削除されます。

C:\ProgramData\RICOH\RICOHCollaborationBoard\Resources\Import

以下の設定情報がエクスポートされます。

- プロキシ認証情報
- 利用するアプリの登録
- Web 会議 URL 設定
- カスタムスタンプ登録
- ユーザー認証設定

システム更新

オフラインで使用するときには手動でシステムを更新するときは、[開く] をタッチして、更新ファイルを選択します。

詳しくは、P.86「システムを更新する」を参照してください。

ランチャー設定

利用するアプリの登録

Windows 11 に対応するアプリケーションを最大 30 個まで登録できます。

↓ 補足

アプリケーションによっては、すべてのアカウントで使用できるものもありますが、インストールを実行したアカウントだけで使用できるものもあります。管理者アカウントでアプリケーションをインストールするときは、そのアプリケーションが専用アカウントでも使用できることを確認してください。

Web 会議 URL 設定

ホーム画面の [Web 会議を開始する] をタッチしたときに開く URL を設定するときには、[変更] をタッチして、Web 会議の URL を入力します。

Microsoft Teams、Google Meet、Zoom Meeting 以外のサービスの URL も設定できます。

Microsoft Teams クライアントアプリを使用不可にする

デフォルト設定値：ON

Microsoft Teams クライアントアプリがインストールされた場合、この設定値が ON であれば、次に本体を起動するとき、もしくはパワーセーブに移行するときにアンインストールされます。

↓ 補足

[Web 会議を開始する] で Microsoft Teams 会議を開始した場合に予期せぬ動作をすることがあるため、本機では Microsoft Teams クライアントアプリの利用を推奨していません。

ホワイトボード設定

カスタムスタンプ登録

ホワイトボードで使用するスタンプを追加するときは、[登録] をタッチして、開いたフォルダーにカスタムスタンプのファイルをコピーします。32 ファイルまで登録できます。

- 画像形式：PNG
- ファイルサイズ上限：1 個あたり 500KB

ユーザー認証設定

[変更] をタッチしてそれぞれの項目を設定し、[保存] をタッチして設定を保存します。

ユーザー認証機能を使用する

ユーザー認証機能を使用するときは、設定を有効にします。

IC カード種別

認証で使用する IC カードの種別を選択します。

認証方式

使用する認証の方式を選択します。



RICOH Collaboration Board Add-on Service for Microsoft 365 を使用しているときは、次のいずれかを選択します。

- [Active Directory] を選択してから「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォームと連携する」を有効にする
- [EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES] を選択する

詳しくは、RICOH Collaboration Board Add-on Service for Microsoft 365 のマニュアルを参照してください。

利用前に認証する

本機の電源を入れたときにユーザー認証機能を使用するときは、設定を有効にします。

認証時にユーザー情報をキャッシュする

IC カードで認証するときに認証サーバーに接続できないときは、本機に保存したキャッシュを使用して認証できます。設定を有効にして「有効期間」を設定すると、ネットワークに接続している状態で認証に成功してからその期間は、キャッシュを本機に保存します。

システムを更新する

本機をオフラインで使用しているとき、手動でシステムのバージョンを更新できます。



- USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

★重要

- システムを更新しているときは電源を切らないでください。
- ファームウェアと同様に、デジタル広幅複合機またはジェルジェットプリンターのドライバーをリコーのホームページからダウンロードして本機にインストールできます。
インストール方法についてはダウンロードした圧縮ファイル内にインストール手順書があるのでそちらを参照してください。
- ドライバーを更新するときは、USB メモリーに保存したシステムファイルから更新を行ってください。詳しくは、P.87「USB メモリーを使用してシステムを更新する」を参照してください。

システムの更新には、以下の方法があります。

ネットワークから更新する

ネットワーク経由でシステムの最新版を確認し、更新します。

本設定が有効のときは、ホワイトボードを起動してから約 5 分後に最新版ファームウェアのチェックを行い、ダウンロードを開始します。

システムの更新は次回起動時に行われます。すぐに更新されるわけではありません。

↓ 補足

ネットワーク接続時は、常に最新のバージョンを自動で適用するため、特定のバージョンに固定することはできません。

USB メモリーから更新する

USB メモリーに保存したシステムファイルで更新します。

USB メモリーから更新するための設定については、P.87「USB メモリーを使用してシステムを更新する」を参照してください。

USB メモリーを使用してシステムを更新する

ファームウェアを保存した USB メモリーをセットして更新できます。

ファームウェアは、リコーのホームページからダウンロードできます。

1. ダウンロードしたファームウェア(RICOH_CW_W_Series_Installer_.x.xxxxx.zip)をパソコンに保存して解凍します。
2. 解凍したシステムファイルを USB メモリーのルートディレクトリー（リムーバブルディスクを開いた直下）に保存します。
3. システムファイルを保存した USB メモリーをディスプレイ側面の USB ポートにセットします。

USB メモリーは 1 つだけセットしてください。

USB メモリーの取り付け方法は、P.20「USB メモリーを取り付ける」を参照してください。

4. 管理者アカウントでサインインし、管理者設定アプリを起動し、[システム設定] にタッチします。
5. システム更新の[開く]をタッチします。
6. システムファイルを選択し[開く]をタッチします。

システムの更新が開始されます。更新が終了すると自動的に再起動します。

オンスクリーンディスプレイメニューを表示する

オンスクリーンディスプレイメニューの操作方法とメニュー項目について説明します。

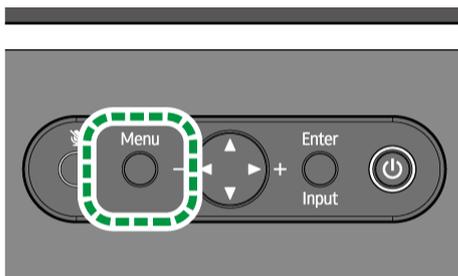
オンスクリーンディスプレイメニューの操作

オンスクリーンディスプレイメニューの操作方法について説明します。

本体でオンスクリーンディスプレイメニューを操作する

本体でオンスクリーンディスプレイメニューを操作する方法について説明します。

1. [Menu] ボタンを押します。



オンスクリーンディスプレイメニューが開きます。

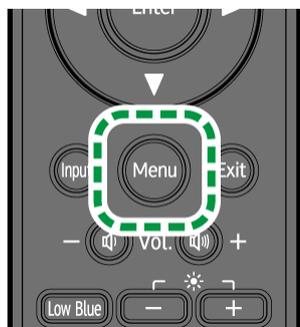
2. [▲] または [▼] ボタンを押して項目を選択します。
3. [Enter/Input] ボタンを押して選択を確定します。
4. [▲] または [▼] ボタンを押して機能を選択します。
5. [◀] または [▶] ボタンを押して調整します。
6. [Enter/Input] ボタンを押して変更内容を保存します。
7. [Menu] ボタンを押すと、直前の項目に戻ります。数回 [Menu] ボタンを押してオンスクリーンディスプレイメニューのトップに戻ります。
8. 再度 [Menu] ボタンを押します。

オンスクリーンディスプレイメニューが閉じます。

リモコンでオンスクリーンディスプレイメニューを操作する

リモコンでオンスクリーンディスプレイメニューを操作する方法について説明します。

1. [Menu] ボタンを押します。



オンスクリーンディスプレイメニューが開きます。

2. [▲] または [▼] ボタンを押して項目を選択します。
3. [Enter] ボタンを押して選択を確定します。
4. [▲] または [▼] ボタンを押して機能を選択します。
5. [◀] または [▶] ボタンを押して調整します。
6. [Enter] ボタンを押して変更内容を保存します。
7. [Menu] ボタンを押します。

オンスクリーンディスプレイメニューが閉じます。

オンスクリーンディスプレイメニューの項目

オンスクリーンディスプレイメニューのメニュー項目について説明します。

↓ 補足

一部のメニュー項目は特定の入力信号ソースだけに対応しています。

画像メニュー

ブルーライト軽減

ブルーライト軽減機能のオンとオフを切り替えます。

- [オン]

機能を有効にします。

- [オフ]

機能を無効にします。

画像モード

ディスプレイの表示モードを設定します。

- [鮮やか]

画像をより明るく鮮明に表示します。

- [標準]

通常の設定です。

- [ユーザー設定]

画像モードを組み合わせて設定ができます。

- [ブルーライト軽減]

目に有害なブルーライトを軽減します。

- [DICOM SIM]

画像の表示を DICOM 規格に準じて最適化します。

バックライト

画面のバックライトの明るさを調整します。



この機能は、「アダプティブコントラスト」が [オン] に設定されているときは利用できません。「アダプティブコントラスト」については、P.96「設定メニュー」を参照してください。

バックライト自動調整

[オン] にすると、本機に内蔵の光センサーを使用して、周囲の明るさに応じて画面のバックライトの明るさを自動的に調整します。

コントラスト

画像のコントラストを調整します。

輝度

画像の明るさを調整します。

彩度

画像の色の濃さを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色温度

色温度を調整します。

- [9300K]
青みがかった色にします。
- [8000K]
自然な色合いで表示します。
- [6500K]
赤みがかった色にします。
- [5000K]
目に有害なブルーライトをカットした色味にします。
- [ユーザー設定]
RGB それぞれの調整ができます。

↓ 補足

画像モードが「標準」、「鮮やか」のときの色温度変更は、一時的な変更を想定しています。定常的に色温度を変更するときは、画像モードを「ユーザー設定」に設定して、色温度を「ユーザー設定」で調整ください。

リセット

画像メニューの設定をすべてリセットします。

音声メニュー

音声モード

スピーカーからの音声出力を調整します。

- [ダイナミック]
高音と低音を強調します。
- [標準]
設定をフラットにします。
- [ビデオ会議]
人の声が聞きやすい音質に設定されます。

音量

音量を調節します。



入力ソースに [Computer In] を設定すると、オンスクリーンディスプレイメニューでは音量を設定できません。このときは、本体の [◀] と [▶] ボタンまたはリモコンの [Vol. -] と [Vol. +] ボタンで音量を調節してください。

ミュート

消音機能のオンとオフを切り替えます。



入力ソースに [Computer In] を設定すると、オンスクリーンディスプレイメニューでは消音機能のオンとオフを切り替えできません。このときは、リモコンの [Mute] ボタンで切り替えてください。

スピーカー

出力音声ソースを設定します。

- [オート]

外部スピーカーを接続しているときは外部スピーカーを、接続していないときは内蔵スピーカーを、オーディオ出力ソースとして選択します。

- [内蔵]

内蔵スピーカーをオーディオ出力ソースとして選択します。

リセット

音声メニューの設定をすべてリセットします。

画面メニュー

PAP

PAP 機能のオンとオフと、PIP（親子 2 画面）と PBP（左右 2 画面）機能のオンとオフを切り替えます。

↓ 補足

「タッチ機能」を [オン] にすると、PBP が無効になります。

PAP サブソース

- PIP のときは、サブピクチャーの映像ソースを選択します。
- PBP のときは、右ピクチャーの映像ソースのデフォルトを選択します。

画像サイズ

サブピクチャーのサイズを変更します。（単位：画素）

PIP モードアスペクト比 (16:9)

	幅	高さ
[小]	1280	720
[大]	1920	1080

↓ 補足

- PIP モードでは、サブピクチャーのアスペクト比は 16:9 に固定されます。

- PBP モードでは、サブピクチャーの画像サイズを変更できません。

Picture Position

PIP のとき、サブピクチャーの位置を変更します。対応している組み合わせは以下の通りです。

対応する PAP 入力信号の一覧

Customize

設定メニューの「タッチ操作」が [オン] のとき、「Customize」を [オン] にすると、サブピクチャーの位置を指で自由に移動したり、サイズを変更したりできます。

アスペクト

ピクチャーのアスペクト比を設定します。

- [標準]

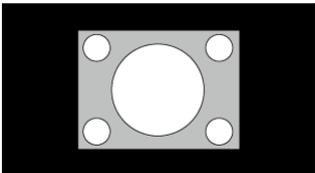
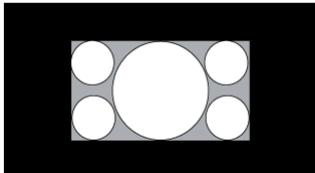
アスペクト比を維持したまま縦方向いっぱいに拡大します。ピクチャーの周辺に黒いフレームが表示されることがあります。

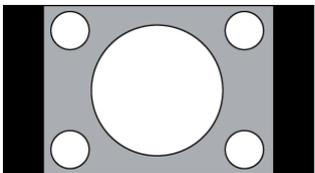
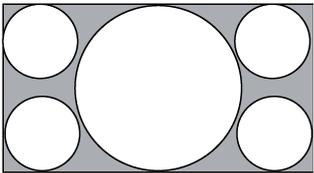
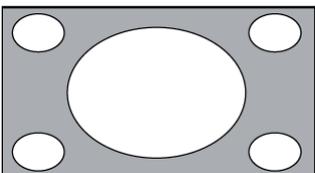
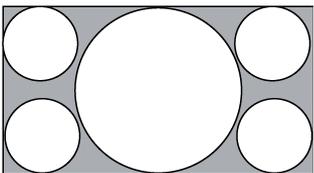
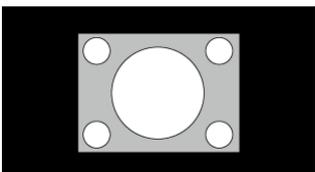
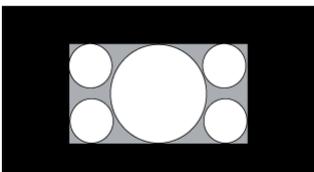
- [全画面]

- ピクチャーソースが 4:3（標準品質）のときは、横方向いっぱいに拡大します。
- ピクチャーソースが 16:9（ハイビジョン）のときは、同じ 16:9 のアスペクト比で表示します。

- [実画面]

ピクチャーを元のドット数で表示します。

ビデオ信号入力	
4:3 オリジナルソース	16:9 オリジナルソース
	

ビデオ信号入力	
[標準] 	[標準] 
[全画面] 	[全画面] 
PC 信号入力	
[実画面] 	[実画面] 

タッチ機能

[オン] にすると、タッチ性能を最大限に高めるために「アスペクト」と「PBP」が無効になります。

設定メニュー

言語

オンスクリーンディスプレイメニューの言語を選択します。

パワーセーブ

信号が検出されないときに節電モードになるようにするかを選択します。

節電モードは以下の設定から選択できます。

- [オン]

外部入力からの信号で節電モードから復帰します。任意の外部入力からの信号でスタンバイから復帰するには、「自動検索」を [オン] にします。

- [オフ]

常にバックライトは点灯したままになります。

タッチ制御設定

「タッチ制御設定」の選択によってタッチスクリーン機能の制御方法が異なります。

- [オート]
 - 映像入力ソースに対応するポートに接続されているコンピューターからの信号でタッチスクリーン機能を制御します。
 - [Computer In] を映像入力ソースとして選択したときは、内蔵コントローラーがタッチスクリーン機能を制御します。

- [Computer In]

内蔵コントローラーがタッチスクリーン機能を制御します。

- [USB-C(Scaler)]

本機前面の USB-C In ポートに接続したコンピューターからの信号でタッチスクリーン機能を制御します。

- [USB-B(Scaler)]

本機側面の USB-B (Computer In)ポートではないほうの USB-B ポートに接続したコンピューターからの信号でタッチスクリーン機能を制御します。

↓ 補足

[オート] にしたとき、映像入力ソースを切り替えると本機の USB ハブに接続されている機器が認識されなくなることがあります。そのときは、USB 機器の再接続、Bluetooth 機器の再ペアリング、または電源のオンとオフを実施してください。

Wake on LAN

ネットワーク経由で Wake on LAN を使用して、本機の電源を入れることができます。

自動検索

[オン] にすると、本機は利用可能な入力ソースを自動的に検出します。

OSD 情報ボックス

- [オン]

信号入力やタイミングを変更したときに、現在の入力ソースと解像度が画面に表示されます。

- [オフ]

リモコンの [Info] ボタンを押したときだけ情報ボックスが表示されます。

6

アダプティブコントラスト

[オン] にすると、暗い場面での画像コントラストを強調します。

タッチ操作

- [オン]

オンスクリーンディスプレイメニューをタッチ操作できます。本体やリモコンでも操作できます。

- [オフ]

オンスクリーンディスプレイメニューのタッチ操作はできません。本体またはリモコンで操作します。

人感センサー

[オン] にすると、人を検知して自動的に節電モードから復帰します。

情報

以下の情報を表示します。

- モデル名
- 動作時間

- ソフトウェアのバージョン

すべてリセット

すべての設定をデフォルトに戻します。

テンプレートを管理する

テンプレートとして利用するための画像をホワイトボード画面に読み込みができます。

また、登録したテンプレート画像を既定画面として設定できます。



- USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

テンプレートを登録する

テンプレートの登録は管理者設定から行います。

テンプレートとして登録する画像ファイルは、USB メモリーもしくは Microsoft 365 連携オプションの SharePoint、OneDrive、Box から選択することができます。

1. テンプレートとして使用するファイルを USB メモリーのルートディレクトリー（リムーバブルディスクを開いた直下）もしくは、OneDrive、SharePoint に保存します。

画像ファイルは 20 件までテンプレートとして登録できます。

画像ファイルは以下の設定で保存してください。

- ファイル名：任意
- 画像の拡張子：JPG、または PNG
- 推奨解像度：1920×1080px（FHD）

2. USB メモリーと使うときは、USB ポートに、テンプレートファイルを保存した USB メモリーをセットします。

USB メモリーは 1 つだけセットしてください。

USB メモリーの取り付け方法は、P.20「USB メモリーを取り付ける」を参照してください。

3. 管理者用設定の [ホワイトボード設定] にタッチします。
4. テンプレート設定の [追加] にタッチします。



5. 読み込むファイルを選択して、[開く] ボタンにタッチします。

選択したテンプレートが本機のテンプレート一覧にカスタムテンプレートとして登録されます。

↓ 補足

- テンプレートに関する設定は、Intune で同期できます。
- カスタムテンプレートは設定したその機器のみで使用できます。
- 1台のホワイトボードの設定情報に、遠隔地の複数台のホワイトボードを同期させることができます。

7. RICOH Collaboration Board Cloud Client を使用する

RICOH Collaboration Board Cloud Client では、クラウドで会議の開催や招集された会議に参加をすることができ、会議の参加者とインターネット経由で、リアルタイムにホワイトボード画面の共有や双方向の書き込みができます。

これ以降、RICOH Collaboration Board Cloud Client は「PC アプリ」と記載します。

PC アプリをインストールする

コンピューターで使用するには、PC アプリをインストールします。

PC アプリの動作環境

PC アプリが対応している動作環境は以下のとおりです。

★重要

インターネットに接続できる環境が必要です。

- 最低動作帯域：1Mbps
- 推奨動作帯域：10Mbps

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 10 Home/Pro/Enterprise (64bit)
- Microsoft Windows 11 Home/Pro/Enterprise (64bit)

CPU

Intel® Core™ i5-8250U 以上

メモリー

4GB 以上

HDD

空き容量 1GB 以上

ブラウザー

- Google Chrome
- Microsoft Edge

アプリケーションをインストールする

PC アプリをインストールする方法を説明します。

1. PC アプリを以下のいずれかからダウンロードします。

使用している OS を選択してダウンロードしてください。

- リコーホームページのソフトウェアダウンロードページ
<https://www.ricoh.co.jp/download/>
- EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のユーザーサイト
- Outlook のスケジュール情報で会議リンクを開いたページ

2. ダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックして、実行します。

3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読みます。同意するときは [同意する] をクリックします。

4. インストールが完了したら、 [完了] をクリックします。

すぐに起動するときは、「RICOH Collaboration Board Cloud Client を実行」にチェックを付けます。

補足

アンインストールするときは、P.140 「PC アプリをアンインストールする」を参照してください。

PC アプリを起動する

PC アプリを起動する方法を説明します。

1. コンピューターの [スタート] メニューから [Ricoh] の [RICOH Collaboration Board Cloud Client] をクリックします。
2. ログイン画面が表示されたときは、EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のアカウントでログインします。

PC アプリが起動します。

補足

- アプリケーションの更新についてのメッセージが表示されたときは、画面の指示に従ってください。
- ログイン方法については、リコーワークプレイス管理サイトの操作ガイドの「ログイン方法」を参照してください。

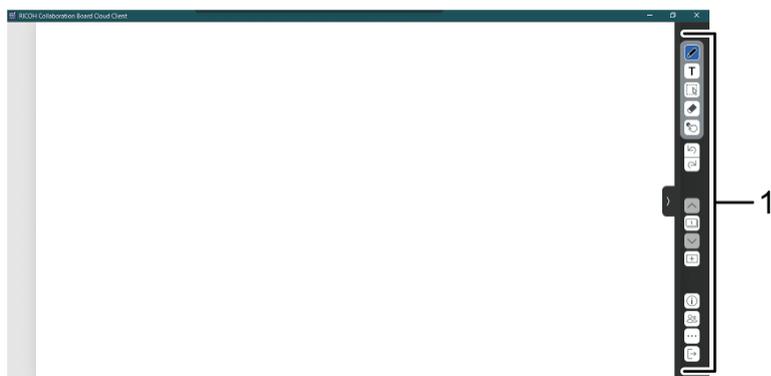
https://na.accounts.ricoh.com/help/ja/operation_guide/int/a0003.htm

- アカウント設定については、リコーワークプレイス管理サイトの操作ガイドの「マイアカウント設定」を参照してください。

https://na.accounts.ricoh.com/help/ja/operation_guide/int/a0013.htm

PC アプリのホワイトボードアプリ画面の見かた

PC アプリのホワイトボードアプリ画面の表示内容と操作方法を説明します。



1. メイン操作パネル

このエリアのアイコンで、書き込みや編集など様々な操作をします。表示されるアイコンの詳細は、P.106 「PC アプリのホワイトボードアプリ画面に表示されるアイコン」を参照してください。

☑/☐アイコンをクリックすると、メイン操作パネルの表示と非表示を切り替えられます。

PC アプリのホワイトボードアプリ画面に表示されるアイコン

アイコン	説明
	ストローク、蛍光ペン、スタンプを書き込むときに使用します。 ペンアイコンのサブメニューが表示されます。
	ペン/蛍光ペン/スタンプのサブメニューからペンモードを選択すると表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ストロークを書き込むときに使用します。 書き込むときの色や太さを変更できます。 <p> 参照</p> P.119 「PC アプリでホワイトボード画面にペンで書き込む」

アイコン	説明
	<p>ペン/蛍光ペン/スタンプのサブメニューから蛍光ペンモードを選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蛍光ペンを書き込むときに使用します。 ・ 書き込むときの色や太さを変更できます。 <p>目 参照</p> <p>P.120 「PC アプリでホワイトボード画面に蛍光ペンで書き込む」</p>
	<p>ペン/蛍光ペン/スタンプのサブメニューからスタンプモードを選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンプを書き込むときに使用します。 ・ 書き込むときの色や種類を変更できます。 <p>目 参照</p> <p>P.121 「PC アプリでホワイトボード画面にスタンプを書き込む」</p>
	<p>テキストを入力するときに使用します。</p> <p>テキストの色や太さを変更できます。</p> <p>目 参照</p> <p>P.122 「PC アプリでホワイトボード画面にテキストを入力する」</p>
	<p>書き込んだストローク、蛍光ペン、スタンプ、テキストを選択して編集するとき使用します。</p>
	<p>ページ内の書き込みをすべて選択します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.124 「PC アプリですべての書き込みを選択する」</p>
	<p>選択した書き込みをコピーします。</p> <p>目 参照</p> <p>P.126 「PC アプリで書き込みを切り取りまたはコピーして貼り付ける」</p>
	<p>選択した書き込みを切り取ります。</p>

アイコン	説明
	コピーまたは切り取った書き込みを貼り付けます。
	書き込んだストローク、蛍光ペン、スタンプ、テキストを削除するときに使用します。 目 参照 P.128 「PC アプリで一部の書き込みを削除する」
	ページ内の書き込みをすべて削除します。 目 参照 P.128 「PC アプリですべての書き込みを削除する」
	マーカーを書き込むときに使用します。 目 参照 P.128 「PC アプリでホワイトボード画面にマーカーを書き込む」
	<ul style="list-style-type: none"> ストローク、蛍光ペン、スタンプ、テキストの書き込み、編集、消去を元に戻すときに使用します。 元に戻した操作をやり直すときに使用します。 目 参照 P.129 「PC アプリでホワイトボード画面に書き込んだ操作を元に戻す」
	前のページを表示します。 目 参照 P.131 「PC アプリでページを移動する」
	ページ一覧を表示します。 ↓ 補足 数字はページ番号です。表示しているページによって数字は変わります。 目 参照 <ul style="list-style-type: none"> P.131 「PC アプリでサムネイルからページを移動する」

アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • P.131 「PC アプリでページを削除する」
	<p>次のページを表示します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.131 「PC アプリでページを移動する」</p>
	<p>新しいページをページ一覧の末尾に作成します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.131 「PC アプリでページを追加する」</p>
	<p>ミーティング情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自身が開催者のときはミーティング情報を編集できます。 • それ以外の場合はミーティングの概要を表示します。
	<p>ミーティングの参加者を表示します。</p>
	<p>その他のメニューを表示します。</p>
	<p>ホワイトボード画面を保存するときに使用します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.130 「PC アプリでホワイトボード画面を保存する」</p>
	<p>ミーティングから退出します。</p> <p>目 参照</p> <p>P.117 「ミーティングから退出する」</p>

PC アプリでミーティングに参加する

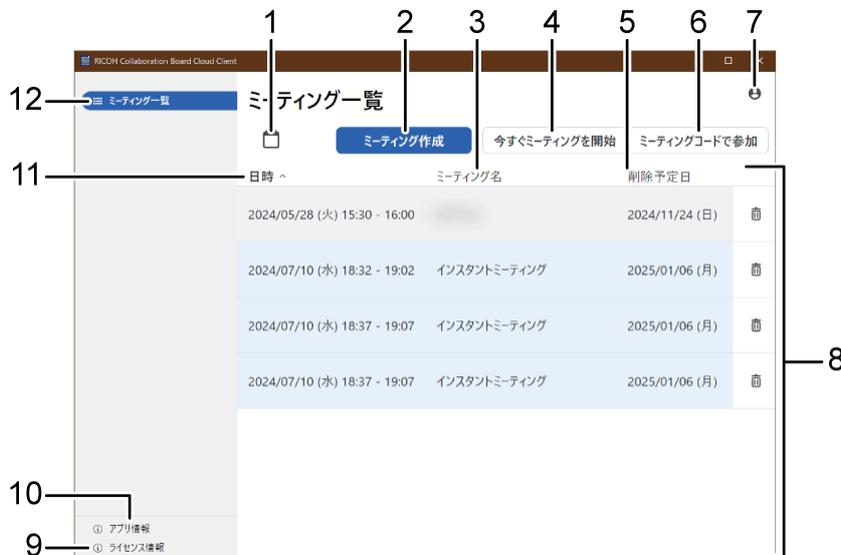
ミーティングに参加する方法を説明します。

★重要

- ・ ミーティングに参加できる台数は、コンピューターやタブレットからの参加者と参加デバイス（コラボレーションボード）を合わせて最大 20 台です。
- ・ ミーティングの時間は、最大 8 時間です。
- ・ ミーティングの情報を最後に編集した日から 180 日後に、ミーティングは削除されます。編集することで、ミーティングの削除予定日は 180 日延長されます。

PC アプリのミーティング一覧画面の見かた

自分が参加できるミーティングの日時とミーティング名を一覧できます。



1. 日付指定アイコン

カレンダーを表示します。日付を選択すると、その日に開催される会議だけが表示されます。

2. 【ミーティング作成】

ミーティングを作成します。詳しくは、P.113「PC アプリでミーティングを作成する」を参照してください。

3. 「ミーティング名」カラム

ミーティング名の昇順／降順でミーティングリストをソートします。

4. 【今すぐミーティングを開始】

すぐにホワイトボードを使用できます。詳しくは、P.114「PC アプリで今すぐミーティングを開始する」を参照してください。

5. 「削除予定日」カラム

ミーティングの削除予定日の昇順／降順でミーティングリストをソートします。削除予定日が同じミーティングは、ミーティング名の昇順で表示します。

6. 【ミーティングコードで参加】

参加者や参加デバイス以外の参加が許可されていれば、参加者に設定されていなくても、ミーティングコードを入力して参加できます。詳しくは、P.114「PC アプリでミーティングコードでミーティングに参加する」を参照してください。

7. アカウントアイコン

アカウントメニューを表示します。

8. ミーティングリスト

ミーティングの日時とミーティング名を表示します。開催中のミーティングは背景の色が変わります。

ミーティングを選択すると、「ミーティング概要」画面が表示されます。詳しくは、P.112「PC アプリでミーティング情報を表示する」を参照してください。

自分が開催者のミーティングには、が表示されます。このアイコンをクリックすると、ミーティングを削除できます。

9. 【ライセンス情報】

OSS のライセンス情報を表示します。

10. 【アプリ情報】

アプリのバージョンを表示します。

11. 「日時」カラム

ミーティングの日時の昇順／降順でミーティングリストをソートします。

12. 「ミーティング一覧」

クラウドミーティングの一覧を表示します。

PC アプリでミーティング情報を表示する

「ミーティング概要」画面で、自分が参加者に含まれているミーティングの概要を確認できます。また、自分が開催者のミーティングは編集もできます。

1. 「ミーティング一覧」画面でミーティングを選択します。

「ミーティング概要」画面または「ミーティング編集」画面が表示されます。

2. ミーティングの情報をコピーするときは、[招待情報のコピー] をクリックします。

ミーティングの情報がテキストとしてクリップボードにコピーされます。ミーティングの参加者に、メールやチャットなどで共有できます。

PC アプリでミーティングを編集する

1. 「ミーティング編集」画面でミーティングの情報を編集します。
2. [保存] をクリックします。

PC アプリでミーティングを作成する

1. [ミーティング作成] をクリックします。
2. ミーティングの情報を入力します。
3. 参加者や参加デバイス以外の参加を許可するときは、「参加者/参加デバイス以外の参加を許可する」にチェックを付けます。
4. ゲストの参加を許可するときは、「ゲストの参加を許可する」にチェックを付けます。
5. 以下のときは「パスワード」に手動でパスワードを入力するか、[パスワード生成] をクリックします。
 - ・ 「参加デバイス」を入力したとき
 - ・ 「参加者/参加デバイス以外の参加を許可する」にチェックを付けたとき
6. [保存] をクリックします。

「ミーティング一覧」画面に追加され、「ミーティング編集」画面が表示されます。

↓ 補足

- ・ ゲストとは、異なるテナントや、EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のアカウントを持っていない参加者です。
- ・ Outlook のスケジュール情報を使用してもミーティングを作成できます。詳しくは、P.138「Outlook でミーティングを作成する」を参照してください。
- ・ 作成したミーティングに参加する方法は、P.110「PC アプリでミーティングに参加する」を参照してください。

PC アプリで今すぐミーティングを開始する

新規のミーティングを開始する方法を説明します。

1. 「ミーティング一覧」画面で [今すぐミーティングを開始] をクリックします。
2. パスワードを入力して [OK] をクリックします。

自分が開催者のミーティングが開始して、ホワイトボード画面が表示されます。

PC アプリでミーティングコードでミーティングに参加する

1. 「ミーティング一覧」画面で [ミーティングコードで参加] をクリックします。
2. ミーティングコードを入力して [OK] をクリックします。
3. パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して [OK] をクリックします。

「ミーティング概要」画面または「ミーティング編集」画面が表示されます。

4. [参加] をクリックします。
5. EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のアカウントを持っていない参加者がゲストとして参加するときは、名前を入力して [OK] をクリックします。

以前のミーティングで保存されたホワイトボード画面が読み込まれて表示されます。

↓ 補足

名前は 20 文字以内で入力してください。

PC アプリでミーティング一覧からミーティングに参加する

1. 「ミーティング一覧」画面でミーティングを選択します。

「ミーティング概要」画面または「ミーティング編集」画面が表示されます。

2. [参加] をクリックします。

以前のミーティングで保存されたホワイトボード画面が読み込まれて表示されます。

PC アプリでミーティングリンクでミーティングに参加する

PC アプリで参加する方法と、ブラウザで参加する方法があります。

PC アプリで参加する

1. Web ブラウザーで会議リンクを開きます。
2. ログイン画面が表示されたときは、EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のアカウントでログインします。
3. [デスクトップアプリで参加する] をクリックします。

PC アプリがインストールされていないときは、「Windows 用デスクトップアプリをダウンロード」をクリックするとダウンロードできます。

PC アプリが起動します。

4. パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して [OK] をクリックします。
5. 会議概要画面が表示されたら、[参加] をクリックします。
6. EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のアカウントを持っていない参加者がゲストとして参加するときは、名前を入力して [OK] をクリックします。

ホワイトボード画面が表示されます。

↓ 補足

- 名前は 20 文字以内で入力してください。
- PC アプリのインストールについては、P.103「PC アプリをインストールする」を参照してください。

ブラウザで参加する

ブラウザでの参加に対応している動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

- Windows 10
- Windows 11
- iPadOS

ブラウザ

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari

1. Web ブラウザーで会議リンクを開きます。
2. ログイン画面が表示されたときは、EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のアカウントでログインします。
3. [ブラウザで参加する] をクリックします。
4. 利用許諾画面が表示されたときは、内容を確認して [同意する] をクリックします。
5. パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して [OK] をクリックします。
6. 会議概要画面が表示されたら、[参加] をクリックします。
7. EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES のアカウントを持っていない参加者がゲストとして参加するときは、名前を入力して [OK] をクリックします。

ホワイトボード画面が表示されます。

↓ 補足

名前は 20 文字以内で入力してください。

ミーティングから退出する

1. [E] をクリックします。
2. [OK] をクリックします。

「ミーティング一覧」画面が表示されます。

ミーティングを削除する前のメール通知を設定する

ミーティングの保存期間は、ミーティングの情報を最後に編集した日から 180 日です。ミーティングが削除される前にメールで通知するかどうかを設定します。

火曜日の 0 時を基準として、そこから 2 週間以内に削除予定日を迎えるミーティングのリストが、毎週月曜日の 9 時にメールで送信されます。

1. PC アプリを起動します。

詳しくは、P.105 「PC アプリを起動する」を参照してください。

2.  をクリックし、[アカウント設定] をクリックします。

アカウント設定画面が表示されます。

3. [メール設定] タブをクリックし、「データ削除前通知を受け取る」の設定を有効にします。

設定の既定値は有効（受け取る）です。

4. 自分が開催者のミーティングの保存期間を延長するときは、通知のメールのミーティングリンクをクリックして、「ミーティング編集」画面でミーティングの情報を編集します。

ミーティングの情報の編集については、P.113 「PC アプリでミーティングを編集する」を参照してください。

↓ 補足

- 以下のミーティングの削除予定が通知されます。
 - 自分が開催者のミーティング
 - 自分が参加者に含まれるミーティング

- ミーティングの開催者と参加者がコラボレーションボードだけのミーティングは、削除予定が通知されません。
- メールの送信時間は、最大で 1 時間の誤差が生じることがあります。
- ミーティングが削除されるタイミングは、最大で 1 日の誤差が生じることがあります。
- ミーティングが削除される前に、ホワイトボード画面に書き込んだ内容やキャプチャーした画面を PDF ファイルとして保存できます。PDF 保存するには、該当のミーティングに参加します。PDF 保存については、P.130「PC アプリでホワイトボード画面を保存する」を参照してください。

PC アプリでホワイトボード画面に書き込む

書き込みなどの基本操作について説明します。

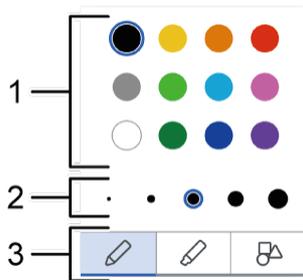
PC アプリでホワイトボード画面に線やスタンプを書き込む

線やスタンプなどを書き込みます。

PC アプリでホワイトボード画面にペンで書き込む

フリーハンドで線を書き込みます。

ペン入力モードのサブメニュー

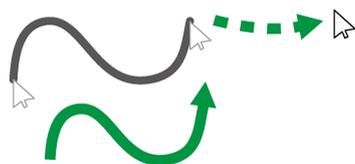


1. 色
2. 太さ
3. 入力モード

1. をクリックします。

サブメニューが表示されます。

2.  をクリックします。
3. 書き込む線の色と太さをサブメニューから選択します。
4. 画面をクリックし、そのまま動かします。



Y453IX0004

線には書いた人の名前が数秒間、表示されます。

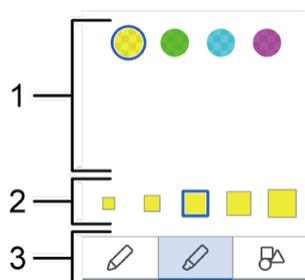
↓ 補足

書き込める線の数には最大で、1 ページあたり 3000、全ページで 90000 です。

7 PC アプリでホワイトボード画面に蛍光ペンで書き込む

フリーハンドで線を書き込みます。

蛍光ペン入力モードのサブメニュー



1. 色
2. 太さ
3. 入力モード

1.  をクリックします。

サブメニューが表示されます。

2.  をクリックします。
3. 書き込む線の色と太さをサブメニューから選択します。
4. 画面をクリックし、そのまま動かします。



Y453IX0004

線には書いた人の名前が数秒間、表示されます。

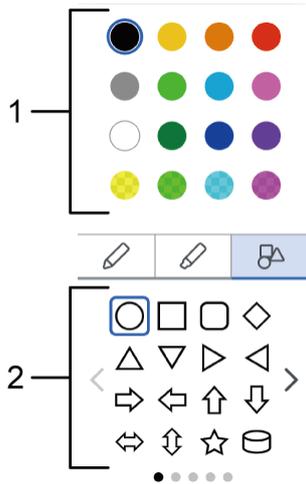
↓ 補足

書き込める線の数には最大で、1 ページあたり 3000、全ページで 90000 です。

PC アプリでホワイトボード画面にスタンプを書き込む

スタンプを一覧から選択して書き込みます。

スタンプ入力モードのサブメニュー



1. 色

2. 種類

1. をクリックします。

サブメニューが表示されます。

2. をクリックします。

3. 書き込むスタンプの色と種類をサブメニューから選択します。

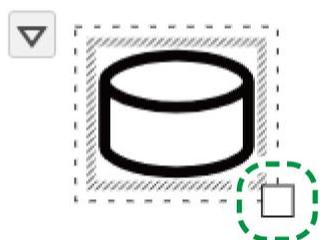
<と>をクリックしてスタンプの一覧ページを切り替えることができます。

4. 画面をクリックします。

選択したスタンプがクリックした場所に書き込まれます。

5. 必要に応じて拡大・縮小します。

オブジェクト拡縮ハンドルをクリックし、そのまま動かします。



7

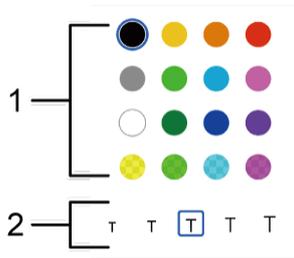
↓ 補足

- スタンプのときは線の太さを選択できません。
- 書き込める線の本数は最大で、1 ページあたり 50、全ページで 500 です。

PC アプリでホワイトボード画面にテキストを入力する

テキストボックスにテキストを入力します。

テキスト入力のサブメニュー



1. 色

2. 文字サイズ

1. **T**をクリックします。

サブメニューが表示されます。

2. 書き込むテキストの色と文字サイズをサブメニューから選択します。

3. 画面をクリックします。

テキストボックスが表示されます。

4. テキストを入力します。

Tをクリックするとコンテキストメニューが表示され、テキストの色と文字サイズを変更できます。

5. 必要に応じてテキストボックスの幅を変更します。

テキストボックスの右端をクリックし、そのまま動かします。

6. テキストボックスの外をクリックします。

入力したテキストが確定します。

↓ 補足

書き込めるテキストボックスの数は最大で、1 ページあたり 30、全ページで 300 です。

PC アプリでホワイトボード画面に書き込んだ内容を選択して編集する

書き込んだ内容を選択して、編集できます。

PC アプリで一部の書き込みを選択する

1.  をクリックします。
2. 編集したい書き込みをクリックします。



クリックした書き込みが選択されます。

↓ 補足

編集したい範囲をドラッグして選択もできます。

PC アプリですべての書き込みを選択する

1.  をクリックします。
サブメニューが表示されます。
2. [すべて選択する] をクリックします。
表示しているページ内のすべての書き込みが選択されます。

PC アプリで書き込みを移動する

書き込んだ内容を選択して、移動します。

1. 移動する書き込みを選択します。
2. 選択範囲内をクリックし、そのまま動かします。



3. 選択した書き込み以外をクリックします。



選択が解除されます。

7

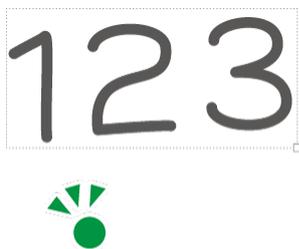
PC アプリで書き込みを拡大または縮小する

書き込んだ内容を選択して、拡大または縮小します。

1. 拡大または縮小する書き込みを選択します。
2. 選択枠右下のオブジェクト拡張ハンドルをクリックし、そのまま動かします。



3. 選択した書き込み以外をクリックします。



選択が解除されます。

PC アプリで書き込みを切り取りまたはコピーして貼り付ける

書き込んだ内容を選択して切り取りまたはコピーして、別の位置に貼り付けます。

1. 切り取りまたはコピーする書き込みを選択します。
2. ▾をクリックします。

コンテキストメニューが表示されます。

3. [切り取る] または [コピーする] をクリックします。
4.  をクリックします。

サブメニューが表示されます。

5. [貼り付ける] をクリックします。
6. 貼り付けたい位置をクリックします。

切り取りまたはコピーした書き込みが貼り付けられます。

7. 選択した書き込み以外をクリックします。



選択が解除されます。

PC アプリで書き込みの色を変更する

書き込んだ内容を選択して、色を変更します。

1. 色を変更する書き込みを選択します。
2.  をクリックします。

コンテキストメニューが表示されます。

3. [色を変更する] をクリックします。
4. 色を選択します。

書き込みが選択した色に変更されます。

5. 選択した書き込み以外をクリックします。



選択が解除されます。

PC アプリでホワイトボード画面に書き込んだ内容を削除する

書き込んだ内容を選択して、削除します。

PC アプリで一部の書き込みを削除する

1.  をクリックします。
2. 削除する書き込みをクリックするか、消す範囲をなぞります。



書き込みが削除されます。テキストは、テキストボックスごと削除されます。

PC アプリですべての書き込みを削除する

表示しているページのすべての書き込みを削除します。

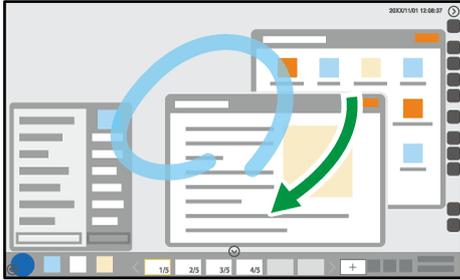
1.  をクリックします。
サブメニューが表示されます。
2. [すべて削除する] をクリックします。
3. [削除] をクリックします。

表示しているページのすべての書き込みが削除されます。

PC アプリでホワイトボード画面にマーカーを書き込む

マーカーとは、画面に書き込んだ半透明の太い線のことです。書き込んでから数秒で自動的に消去されます。書き込んだ内容や表示した映像の着目させたい箇所を指し示すときに便利です。

1.  をクリックします。
2. 画面をクリックし、そのまま動かします。



Y453IX0003

参加しているすべての機器でマーカーを書き込め、すべての機器に表示されます。マーカーには書いた人の名前が数秒間、表示されます。

↓ 補足

 をクリックする代わりに、左の [Ctrl] キーを押している間もマーカーを書き込めます。

PC アプリでホワイトボード画面に書き込んだ操作を元に戻す

書き込みや移動、削除などの操作は元に戻せます。また元に戻した操作のやり直しもできます。

1.  の上部をクリックします。
2. 元に戻した操作をもう一度やり直すときは、 の下部をクリックします。

↓ 補足

- 現在表示されているページでの自分の操作だけを、元に戻したりやり直したりできます。
- 操作は 100 回まで、元に戻したりやり直したりできます。
- 以下の操作は元に戻したりやり直したりできません。
 - 自分の書き込んだ内容であっても、会議のほかの参加者が移動や編集などをしたとき

- ページ操作
- ページを跨いだ書き込み
- 一度ページを切り替えて元のページに戻ったときの、元のページでの操作

PC アプリでホワイトボード画面を保存する

ホワイトボード画面に書き込んだ内容やキャプチャーした画面は、クラウドに自動的に保存され、180日で消去されます。ローカルで保存して管理したり、PDFで配布したいときは、コンピューターに保存できます。

1. をクリックします。

サブメニューが表示されます。

2. [PDF 保存] をクリックします。
3. 保存先を選択します。
4. ファイル名を入力します。
5. [保存] をクリックします。

↓ 補足

- 複数のページも、1つのPDFファイルとして保存されます。
- 本製品で保存したPDFファイルは、コラボレーションボードで読み込んでも、再編集はできません。
- 保存されるPDFファイルの仕様は、P.45「保存されるPDFファイルの仕様」を参照してください。

PC アプリでページを操作する

新規ページの追加や削除などのページ操作について説明します。

PC アプリでページを追加する

1.  をクリックします。

空白の新しいページがページリストの末尾に作成されます。作成したページが表示されます。

補足

- 最大で 100 ページまで作成できます。

PC アプリでページを移動する

1.  または  をクリックします。
 - 次のページに切り替えるときは、 をクリックします。
 - 前のページに切り替えるときは、 をクリックします。

PC アプリでサムネイルからページを移動する

複数のページを作成したとき、ページのサムネイルからページを選択して、表示するページを移動します。

1.  をクリックします。

ページのサムネイルが表示されます。
2. 表示したいページのサムネイルをクリックします。

サムネイルをクリックしたページが表示されます。

PC アプリでページを削除する

複数のページを作成したとき、特定のページを指定して削除します。

1.  をクリックします。

ページのサムネイルが表示されます。

2. 削除したいページのサムネイルをクリックします。

サムネイルに  が表示されます。

3.  をクリックします。

4. **【削除】** をクリックします。

ページが削除されます。

Microsoft 365 や Box と連携する

Microsoft 365 や Box と連携して本機を使用するには、ユーザーが各自で連携を設定します。

Microsoft 365 との連携を設定する

事前に PC アプリの [アカウント設定] で、Microsoft 365 と連携させます。

1. PC アプリを起動します。

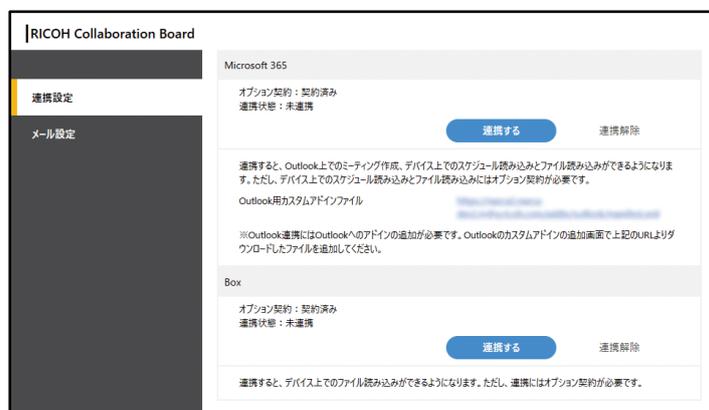
詳しくは、P.105 「PC アプリを起動する」を参照してください。

2. をクリックし、[アカウント設定] をクリックします。



アカウント設定画面が表示されます。

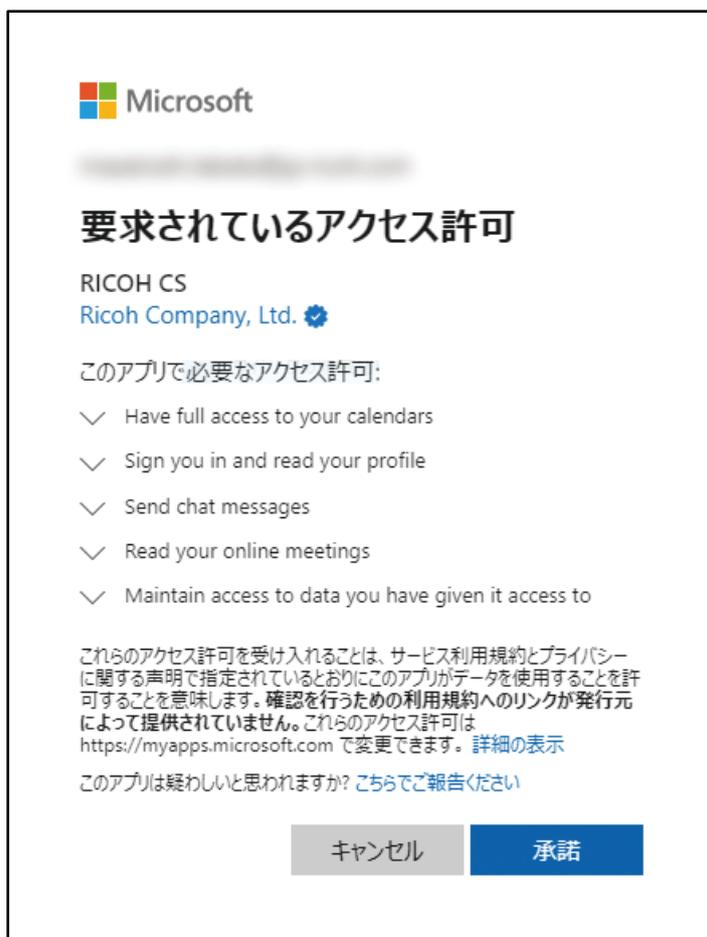
3. [連携設定] タブをクリックし、Microsoft 365 の [連携する] をクリックします。



4. ログイン画面が表示されたときは、連携を設定する Microsoft 365 のアカウントでログインします。

アクセス許可画面が表示されます。

5. [承諾] をクリックします。



連携が完了します。

Box との連携を設定する

事前に PC アプリの [アカウント設定] で、Box と連携させます。

1. PC アプリを起動します。

詳しくは、P.105 「PC アプリを起動する」を参照してください。

2. をクリックし、[アカウント設定] をクリックします。



アカウント設定画面が表示されます。

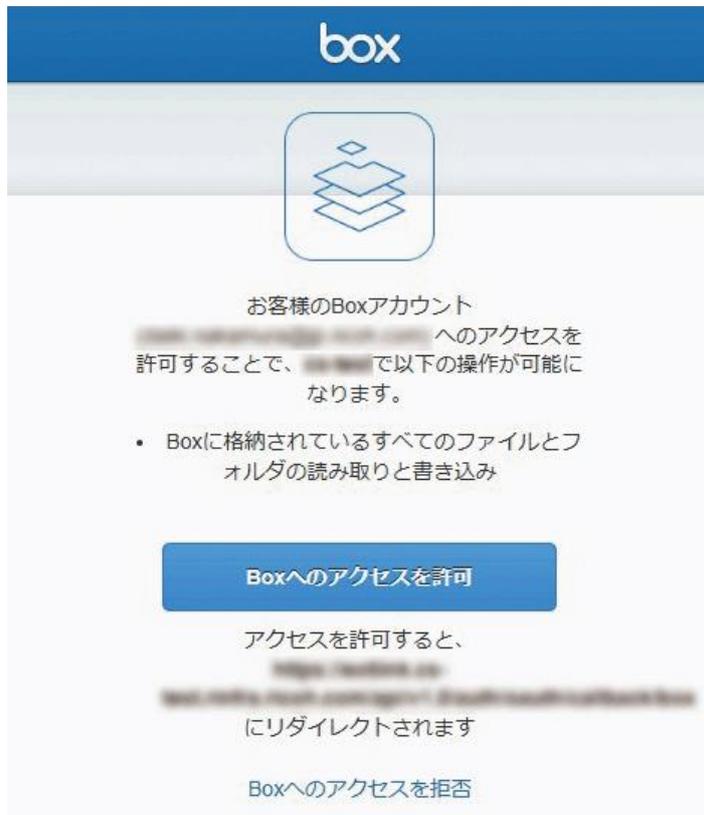
3. [連携設定] タブをクリックし、Box の [連携する] をクリックします。



4. ログイン画面が表示されたときは、連携を設定する Box のアカウントでログインします。

アクセス許可画面が表示されます。

5. [Box へのアクセスを許可] をクリックします。



7

連携が完了します。

Outlook にアドインをインストールする

Outlook にアドインをインストールすると、Outlook のスケジュール情報を使用して会議を作成できます。

1. PC アプリを起動します。

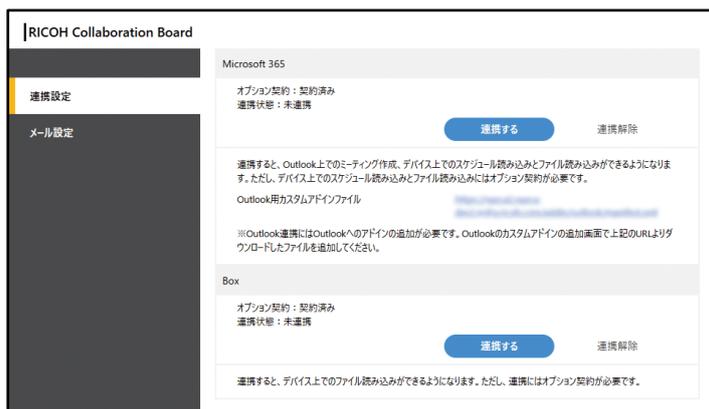
詳しくは、P.105 「PC アプリを起動する」を参照してください。

2. をクリックし、[アカウント設定] をクリックします。



アカウント設定画面が表示されます。

3. [連携設定] タブをクリックし、「Outlook 用カスタムアドインファイル」に表示されている URL をクリックします。



4. 保存先を選択します。
5. ファイル名を入力します。
6. [保存] をクリックします。
7. Outlook を起動します。
8. [ファイル] > [情報] > [アドインの管理] > [個人用アドイン] > [カスタムアドインの追加] > [ファイルから追加] の順にクリックします。
9. 保存したファイルを選択して [OK] をクリックします。

↓ 補足

- [カスタムアドインの追加] が表示されないときは、Microsoft 365 の管理者に問い合わせてください。
- 新しいアドインが公開されても、自動では更新されません。手動で再度インストールしてください。

7

Outlook でミーティングを作成する

Outlook のスケジュール情報を使用してミーティングを作成する方法を説明します。

1. Outlook でスケジュール作成画面を開きます。
2. リボンにある RICOH Collaboration Board Cloud のアドインをクリックします。



3. ゲストの参加を許可するときは、「ゲストの参加を許可する」にチェックを付けます。
4. [連携する] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

ミーティングのスケジュール情報が挿入されます。

6. ミーティングの情報を入力します。

保存

タイトルを追加します Teams 会議

出席者を招待します 任意

2024/11/12 16:00 から 16:30 定期的に行う 終日

会議室または場所を検索します 対面イベント

RICOH Collaboration Board連携済み（ミーティング情報の挿入にはタイムラグがあります）

RICOH Collaboration Board
 Meeting link: [https://teams.microsoft.com/join/...](#)
 Meeting code: [123456789](#)
 Password: [12345678](#)

Rich text editor toolbar: Bold, Italic, Underline, Text color, Background color, Bulleted list, Numbered list, Indent, Outdent, Quote, etc.

7. [保存] をクリックします。

- ・ ミーティングリンクとパスワードが生成され、ミーティングのスケジュール情報に反映されます。
- ・ ミーティングを作成した人が投稿者となり、同じミーティングに紐づけられた Teams 会議のチャットにも同じ内容が投稿されます。

RICOH Collaboration Board
 Meeting link: [https://teams.microsoft.com/join/...](#)
 Meeting code: [123456789](#)
 Password: [12345678](#)

8. ミーティングに参加するときは、ミーティングリンクをクリックします。

詳しくは、P.115「PC アプリでミーティングリンクでミーティングに参加する」を参照してください。

9. パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力します。

↓ 補足

- ・ 作成したミーティングのスケジュール情報を Outlook で削除や変更しても、RICOH Collaboration Board Cloud のミーティングには反映されません。
- ・ 繰り返しのミーティングは、初回の日程で登録されます。

PC アプリをアンインストールする

PC アプリをアンインストールする方法を説明します。

1. コンピューターの [スタート] メニューから [設定] を開き、 [アプリ] をクリックします。
2. 「アプリと機能」の一覧から「RICOH Collaboration Board Cloud Client」を選択し、 [アンインストール] をクリックします。
3. [アンインストール] をクリックします。
4. アンインストールが完了したら、 [完了] をクリックします。

8. トラブルを解決する

メッセージが表示されたときや、思いどおりに操作できないときの対処方法を説明します。

ホワイトボードアプリを使用中にメッセージが表示されたとき

ホワイトボードアプリを使用中に表示される主なメッセージとその対処方法を説明します。

メッセージ	原因	対処方法
「1 ページあたりのペン/蛍光ペンの上限に達しました。」	使用しているページのペンと蛍光ペンの書き込みの上限に達しています。	<ul style="list-style-type: none">• ページ内のペンと蛍光ペンの書き込みを削除してください。• 新しいページを追加して使用してください。
「全ページあたりのペン/蛍光ペンの上限に達しました。」	使用しているホワイトボードのペンと蛍光ペンの書き込みの上限に達しています。	<ul style="list-style-type: none">• ペンと蛍光ペンの書き込みを削除してください。• 新しいホワイトボードを作成して使用してください。
「1 ページあたりのテキストの上限に達しました。」	使用しているページのテキストボックスの上限に達しています。	<ul style="list-style-type: none">• ページ内のテキストボックスを削除してください。• 新しいページを追加して使用してください。
「全ページあたりのテキストの上限に達しました。」	使用しているホワイトボードのテキストボックスの上限に達しています。	<ul style="list-style-type: none">• テキストボックスを削除してください。• 新しいホワイトボードを作成して使用してください。

メッセージ	原因	対処方法
「1 ページあたりのスタンプの上限に達しました。」	使用しているページのスタンプの上限に達しています。	<ul style="list-style-type: none"> • ページ内のスタンプを削除してください。 • 新しいページを追加して使用してください。
「全ページあたりのスタンプの上限に達しました。」	使用しているホワイトボードのスタンプの上限に達しています。	<ul style="list-style-type: none"> • スタンプを削除してください。 • 新しいホワイトボードを作成して使用してください。
「ページ数が最大です。」	ページ数が上限に達しています。	<ul style="list-style-type: none"> • ページを削除してください。 • 新しいホワイトボードを作成して使用してください。
「処理中のオブジェクトが含まれるため操作できません。」	競合が発生することがあるオブジェクトを操作しようとした。	しばらく待ってから、改めて実行してください。
「ホワイトボードに参加していないためキャプチャーに失敗しました。ホワイトボードに参加してからもう一度お試しください。」	ホワイトボードに参加していない状態で画面を撮影しようとした。	ホワイトボードに参加してから、改めて実行してください。

思いどおりに使用できないとき

本機を思いどおりに使用できないときの原因と対処方法を説明します。

↓ 補足

- 本機にレーザーポインターを当てても見えにくいことがあります。詳しくはレーザーポインターの使用説明書を参照してください。
- 本体が起動しないときや、画面が表示されないときは、以下について確認してください。
 - 電源コードが接続されているか
 - 主電源スイッチが「オン」になっているか
- 電源コード、主電源スイッチについては、『はじめにお読みください』を参照してください。
- トラブルを解決できないときはサービス実施店に連絡してください。

電源を入れたとき／切ったとき

状態	原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> • 電源ボタンを押しても起動しない。 • 電源ボタンを押しても電源ランプが点灯しない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードが正しく接続されていません。 • 主電源が切れています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードを接続し直してください。 • 主電源を入れてください。
電源ランプが青色に点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されていない。	パワーセーブモードになっています。	ディ스플레이にタッチしてください。 タッチしても何も表示されないときは、サービス実施店に連絡してください。

状態	原因	対処方法
ディスプレイ背面から異音 がする。	ディスプレイ内部に異常が 発生しています。	電源ボタンを押し、すぐに指を離し てください。本機が終了したら、主 電源を切って、サービス実施店に連 絡してください。

映像を表示しているとき

状態	原因	対処方法
単色でしか表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが正しく接 続されていません。 間違ったケーブルが 使用されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルを接続し直してくださ い。 正しいケーブルを使用している か確認してください。 <p>上記の方法で解決しないときは、サ ービス実施店に連絡してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイが暗す ぎる。 ディスプレイが明る すぎる。 	ディスプレイの輝度が適切 な設定になっていません。	オンスクリーンディスプレイメニュ ーで、輝度を調整してください。オ ンスクリーンディスプレイメニュー については、P.89「オンスクリーン ディスプレイメニューを表示する」 を参照してください。
画面が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが正しく接 続されていません。 接触部の不良や断線 など、ケーブルが故 障していることがあ ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが正しく接続されてい るか確認してください。 ケーブルを接続し直してくださ い。 ケーブルの状態を確認してくだ さい。
画面に表示された日時が合 っていない。	本体内部の電池が消耗して いることがあります。	管理者が内蔵 Windows で日時を設 定し直してください。

状態	原因	対処方法
		設定したあとも画面に表示された日時が合っていないときは、サービス実施店に連絡してください。
ディスプレイの一部が点灯したまま、または消灯したまま	液晶パネルは、画素の集まりによって画像を形成し、設計仕様どおりに製造されています。ディスプレイのほとんどは正常に動作しますが、一部は赤、青、または緑で点灯したまま、あるいは消灯したままになります。これは液晶技術の限界であり、欠陥ではありません。	
音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機または入力機器の消音機能をオンにしています。 ・ ケーブルの接続が緩んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消音機能をオフにするか、音量を上げてください。 ・ ケーブルを接続し直してください。

外部スピーカーを接続しているときの音量について

本機に外部スピーカーを接続しているとき、使用する外部スピーカーによって音量の決まり方が異なります。音が聞こえないときや思うように音量が調節できないときは、該当する以下のいずれかの方法で音量を調節してください。

- ・ 外部スピーカーの音量設定のみが有効になる
外部スピーカーで音量を調節します。
- ・ 本機の音量設定と外部スピーカーの音量設定を掛け合わせた音量になる
本機と外部スピーカーでそれぞれ音量を調節します。

ホワイトボードとして使用しているとき

状態	原因	対処方法
正しい位置に書き込めない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの枠に物を置いています。 • ディスプレイが汚れています。 	<ul style="list-style-type: none"> • タッチペンなど、障害となるような物をディスプレイの枠の上に置かないでください。 • ディスプレイを清掃してください。ディスプレイの清掃については、P.151「お手入れについて」を参照してください。 <p>上記の方法で解決しないときは、サービス実施店に連絡してください。</p>
書き込んだ線が途中で途切れる。	ペン先が正しくディスプレイに触れていない可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> • 書き込むときは、ペン先が常にディスプレイに触れている状態になるように、ペンを立て気味にして、書いてください。 • ディスプレイを清掃してください。ディスプレイの清掃については、P.151「お手入れについて」を参照してください。 • 近くに赤外線を使っている機器があるときは、機器の電源を切ってください。 <p>上記の方法で解決しないときは、サービス実施店に連絡してください。</p>
途中で線が予期しない方向に飛ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> • ペン以外のものがディスプレイに触れています。 	<ul style="list-style-type: none"> • ペンだけがディスプレイに触れるようにしてください。 • ディスプレイ枠から手を離して使用してください。

状態	原因	対処方法
	<ul style="list-style-type: none"> 明るい窓際や、直射日光下、明るい照明光の直下では、線が飛んでしまうことがあります。 ディスプレイに衝撃があたえられました。 	<ul style="list-style-type: none"> 向きや設置場所を変更してください。 ディスプレイに過度な衝撃はあたえないでください。 <p>上記の方法で解決しないときは、サービス実施店に連絡してください。</p>
イレーザーで削除できない。	パームリジェクション機能が作動しているため、イレーザーでディスプレイに触れてもしばらくは、イレーザーが機能しません。	本機では、ディスプレイに手をついたままペンで書き込めます。この手をついた部分を見捨てる機能が、パームリジェクション機能です。このため、イレーザーをディスプレイに触れたまま移動させてください。
コラボレーションボードとは関係のない不明なエラーが発生する。	システムでエラーが発生している可能性があります。	サービス実施店に連絡してください。

モニターとして使用しているとき

状態	原因	対処方法
コンピューターの映像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが正しく接続されていません。 コンピューターの外部出力設定が正しく設定されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルを接続し直してください。 コンピューターの外部出力設定を確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> 映像が途中で表示されなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが正しく接続されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

状態	原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> 映像が途中で止まる。 映像が乱れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 接触部の不良や断線など、ケーブルが故障していることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルを接続し直してください。 ケーブルの状態を確認してください。
映像にノイズが発生する。	接続機器側の出力解像度を高解像度に設定しているとノイズが発生することがあります。	接続機器側の出力解像度設定を低解像度に設定してください。
画面の拡大率が変わる。	映像ケーブルを短時間で抜き差しすると画面の倍率が変換することがあります。	ケーブルの短時間での抜き差しを行わないでください。

リモコンを使用しているとき

状態	原因	対処方法
リモコンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池が正しくセットされていません。 電池の残量がありません。 リモコンからのコマンド信号が本機のセンサーに届いていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 電池の向きを確認してください。 電池の残量を確認してください。 本機との距離やディスプレイの向きを確認してください。 リモコンがディスプレイのリモコンセンサーウィンドウに正しく向けられていることを確認してください。 リモコンとリモコンセンサーウィンドウの間に障害物がないか確認してください。

状態	原因	対処方法
		<ul style="list-style-type: none"> • リモコンセンサーウィンドウに強い光や直射日光が当たってないか確認してください。 • 近くのコンピューターや PDA などの機器が、リモコンと本機との間の信号伝送を妨害する赤外線信号を出していないか確認してください。これらの機器の赤外線機能をオフにしてください。 <p>詳しくは、P.19「リモコン使用のヒント」を参照してください。</p>

9. 付録

お手入れの方法、仕様、お問い合わせ先、商標などについて説明します。

お手入れについて

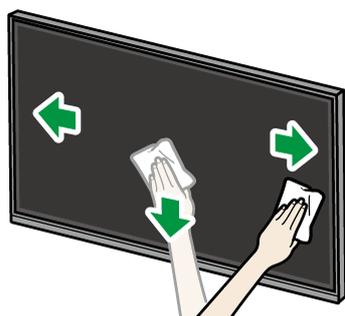
ディスプレイを清掃する

⚠ 注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

コラボレーションボードのディスプレイの表面やディスプレイの枠の内側が汚れたときは、乾燥した柔らかい布でふき取ってください。



汚れたまま使用すると、ディスプレイにタッチした位置が正常に認識されないことがあります。

RS-232C 端子で制御できる機能とコマンド一覧

本機とコンピューターを通信用 RS-232C ケーブル（クロスケーブル）で接続したとき、RS-232C 端子は、ターミナルソフトを使用してコンピューターから本機を制御できます。

通信条件

- ボーレート：19200bps
- データビット：8 ビット
- パリティ：なし
- ストップビット：1 ビット

通信仕様

本機は、以下のコマンドフォーマットに従って制御します。制御方法には、設定コマンドと問い合わせコマンドの 2 種類があります。

- 設定コマンド：コンピューターから本機の設定を制御します。
- 問い合わせコマンド：コンピューターから本機の設定情報を取得します。

入力コマンドフォーマット

ヘッダ	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	End
7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF	*1	*1	*1 *2	CF

応答コマンドフォーマット

ヘッダ	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	応答データ[hex]	End
7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF	*1	*1	*1 *2	CF

*1 P.153「コマンド一覧」を参照してください。

*2 設定コマンドの場合、設定に成功したときは、入力データ部分と応答データ部分が同じ値になります。

コマンド一覧

設定コマンド一覧

機能	長さ[hex]	コマンドコード [hex]	入力データ[hex]
電源	02	81	00: オフ
			01: オン
入力ソース	02	82	01: HDMI1
			02: HDMI2
			03: USB-C(Scaler)
			04: Computer In

画像メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード [hex]	入力データ[hex]
画像モード	02	92	00: 標準
			01: 鮮やか
			02: ユーザー設定
			03: ブルーライト軽減
			04: DICOM SIM
バックライト	02	93	0x00 ~ 0x64
バックライト自動調整	02	9B	00: オフ
			01: オン
コントラスト	02	83	0x00 ~ 0x64
輝度	02	84	0x00 ~ 0x64

機能	長さ[hex]	コマンドコード [hex]	入力データ[hex]
彩度	02	B6	0x00 ~ 0x64
シャープネス	02	85	0x01 ~ 0x0A
色温度	02	95	00: 9300K
			01: 8000K
			02: 6500K
			03: ユーザー設定
			04: 5000K
リセット	02	86	00: リセット

音声メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード [hex]	入力データ[hex]
音声モード	02	89	00: ダイナミック
			01: 標準
			02: ビデオ会議
音量	02	8A	0x00 ~ 0x64
ミュート	02	8B	00: オフ
			01: オン
スピーカー	02	96	00: 内蔵
			01: オート
リセット	02	8C	00: リセット

画面メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード [hex]	入力データ[hex]
PAP	02	97	00: オフ
			01: PIP
			02: PBP
PAP サブソース	02	98	01: HDMI1
			02: HDMI2
			03: USB-C(Scaler)
			04: Computer In
画像サイズ	06	99	00 00 00 00 00: 小
			01 00 00 00 00: 大
Picture Position	06	9A	00 00 00 00 00: 左上
			01 00 00 00 00: 右上
			02 00 00 00 00: 左下
			03 00 00 00 00: 右下
アスペクト	02	87	00: 標準
			01: 実画面
			02: 全画面
タッチ機能	02	A2	00: オフ
			01: オン

設定メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード [hex]	入力データ[hex]
言語	02	88	00: English
			14: 日本語
パワーセーブ	02	A3	00: オフ
			01: オン
Wake on LAN	02	AF	00: オフ
			01: オン
自動検索	02	9C	00: オフ
			01: オン
OSD 情報ボックス	02	90	00: オフ
			01: オン
アダプティブコントラスト	02	94	00: オフ
			01: オン
タッチ操作	02	A6	00: オフ
			01: オン
人感センサー	02	AB	00: オフ
			01: オン
すべてリセット	02	91	00: OK

問い合わせコマンド一覧

機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
電源	02	01	00	00: オフ
				01: オン
入力ソース	02	02	00	11: Computer In
				12: Computer In
				01: HDMI1
				02: HDMI2
				03: USB-C(Scaler)

画像メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
画像モード	02	12	00	00: 標準
				01: 鮮やか
				02: ユーザー設定
				03: ブルーライト軽減
				04: DICOM SIM
バックライト	02	13	00	0x00 ~ 0x64
バックライト自動調整	02	1B	00	00: オフ
				01: オン
コントラスト	02	03	00	0x00 ~ 0x64
輝度	02	04	00	0x00 ~ 0x64
彩度	02	36	00	0x00 ~ 0x64

機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
シャープネス	02	05	00	0x01 ~ 0x0A
色温度	02	15	00	00: 9300K
				01: 8000K
				02: 6500K
				03: ユーザー設定
				04: 5000K

音声メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
音声モード	02	09	00	00: ダイナミック
				01: 標準
				02: ビデオ会議
音量	02	0A	00	0x00 ~ 0x64
ミュート	02	0B	00	00: オフ
				01: オン
スピーカー	02	16	00	00: 内蔵
				01: オート

画面メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
PAP	02	17	00	00: オフ
				01: PIP

機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
				02: PBP
PAP サブソース	02	18	00	01: HDMI1
				02: HDMI2
				03: USB-C(Scaler)
				04: Computer In
画像サイズ	06	19	00 00 00 00 00	00 00 00 00 00: 小
				01 00 00 00 00: 大
Picture Position	06	1A	00 00 00 00 00	00 00 00 00 00: 左上
				01 00 00 00 00: 右上
				02 00 00 00 00: 左下
				03 00 00 00 00: 右下
アスペクト	02	07	00	00: 標準
				01: 実画面
				02: 全画面
タッチ機能	02	22	00	00: オフ
				01: オン

設定メニュー

機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
言語	02	08	00	00: English
				14: 日本語
パワーセーブ	02	23	00	00: オフ

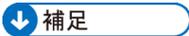
機能	長さ[hex]	コマンドコード[hex]	入力データ[hex]	応答データ[hex]
				01: オン
Wake on LAN	02	2F	00	00: オフ
				01: オン
自動検索	02	1C	00	00: オフ
				01: オン
OSD 情報ボックス	02	10	00	00: オフ
				01: オン
アダプティブコントラスト	02	14	00	00: オフ
				01: オン
タッチ操作	02	26	00	00: オフ
				01: オン
人感センサー	02	2B	00	00: オフ
				01: オン
動作時間	04	7E	00 00 00	0x00 ~ 0x1869F
モデル名	10	00	02 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	02 xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx
ソフトウェアのバージョン	10	00	04 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	04 xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx xx

付属品のカメラオプション取り付けブラケットについて

三脚の穴が付いているカメラであれば、オプションのカメラユニット以外にも、付属品のブラケットを取り付けられます。耐荷重は2kgです。

取り付け方法は、カメラユニットの『設置手順書』を参照してください。

仕様

項目		仕様
液晶パネル	バックライト	D-LED
	パネルサイズ	RICOH Collaboration Board W5500 55 インチ RICOH Collaboration Board W6500 65 インチ RICOH Collaboration Board W7500 75 インチ
	ネイティブ解像度 (画素)	3840 × 2160 (4K)
	表示方式	VA
	輝度 (cd/m ²)	450  補足 輝度は、映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。
	コントラスト (標準)	RICOH Collaboration Board W5500 4500:1 RICOH Collaboration Board W6500 4000:1 RICOH Collaboration Board W7500 5000:1
	アスペクト比	16:9

項目		仕様
	視野角	左右 178°/上下 178°
	リフレッシュレート	60 Hz
	最大表示色	約 10 億 7000 万色
タッチ	空間分解能	0.4 mm (指・ペン)
	最大タッチ数*1	20 ポイントタッチ
	タッチ出力	USB 2.0
	対応オペレーティングシステム	マルチタッチ： <ul style="list-style-type: none"> • Windows 10 • Windows 11 • Android シングルタッチ： <ul style="list-style-type: none"> • macOS 11~13 • Linux • Chrome OS
パネルガラス	種類	強化ガラス
	厚さ	3.2 mm
インターフェース	前面	USB Type-C
	背面	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI (入力) × 3 • HDMI (出力) • USB 3.0 Type-A × 5 • USB 3.0 Type-B × 2 (タッチパネル専用) • USB Type-C × 3

項目		仕様
		<ul style="list-style-type: none"> Audio (出力) (3.5 mm ジャック)
	ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 2^{*2} IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax
	コントロール	RS-232C (D-Sub 9 ピン)
オーディオ	内蔵スピーカー	<ul style="list-style-type: none"> 15 W (8Ω) × 2 サブウーファー 20W
	内蔵マイク	<ul style="list-style-type: none"> アレイマイク × 6 集音距離 : 8 m
無線	機能	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth NFC Wi-Fi
	方式	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth 5.3 NFC (Type-A/B/F 対応) Wi-Fi (IEEE802.11 ax) 周波数帯 : 2.4GHz/5GHz/6GHz
電源	電源	AC100V、50/60Hz
	使用時消費電力	<p>RICOH Collaboration Board W5500 112W (本体のみ)</p> <p>RICOH Collaboration Board W6500 127W (本体のみ)</p> <p>RICOH Collaboration Board W7500 141W (本体のみ)</p>

項目		仕様
		<p>↓ 補足</p> <p>使用方法により製品の電力は変化します。この電力は通常使用時の特定の条件で測定した結果です。</p>
	最大消費電力	<p>RICOH Collaboration Board W5500 380W 以下（本体のみ）</p> <p>RICOH Collaboration Board W6500 400W 以下（本体のみ）</p> <p>RICOH Collaboration Board W7500 450W 以下（本体のみ）</p>
	待機消費電力	0.3W 以下
環境条件	動作温度	<p>0～40℃</p> <p>↓ 補足</p> <p>設置条件により、温度範囲が変わることがあります。</p>
	動作湿度	<p>10～80%（非結露時）</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置条件により、湿度範囲が変わることがあります。 設置場所が高温環境の場合、低湿環境（60%以下）での動作をお勧めします。
	高度	最高 2,500 m
メカ仕様	重量（オプションを除く）	<p>RICOH Collaboration Board W5500 約 36 kg</p> <p>RICOH Collaboration Board W6500 約 44 kg</p>

項目		仕様
		RICOH Collaboration Board W7500 約 57 kg
	寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	RICOH Collaboration Board W5500 1280 × 825.5 × 80 mm RICOH Collaboration Board W6500 1499 × 946.5 × 92 mm RICOH Collaboration Board W7500 1721 × 1070 × 93 mm

*1 最大タッチ数は 20 ポイントです。ただし、タッチの位置によっては動作が乱れることがあります。

*2 2つの異なるネットワークに接続することはできません。

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

情報は設定画面の [ライセンス情報] で確認できます。詳しくは、P.79「高度な設定」を参照してください。

GNU GPLv2 の適用を受けるソフトウェアについてソースコードの入手を希望されるお客様は、ソフトウェア名を明記の上、お近くのサポート窓口までお申し込み下さい。弊社より CD をお送りします。（送付にかかる実費はお客様の負担となります。）

お問い合わせ先

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<https://www.ricoh.co.jp/support/repair/>

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

電話でのお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「リコーテクニカルコールセンター」または販売店にご連絡ください。

0120-892-1111

イチイチイチ

- ・ 受付時間（祝祭日および弊社休業日を除く）

操作方法、製品の仕様についてのお問い合わせ：9時～17時（月～金）

- ・ お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

Webでのお問い合わせ

ホームページからもお問い合わせ、修理のお申し込み・ご相談を承っております。

<https://www.ricoh.co.jp/contact/product.html>



商標

Apple Pencil は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

Android は、米国および他の国々で登録された Google LLC.の商標です。

Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, INC.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG, Inc.所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

Box は、Box Inc.の商標または登録商標です。

Box ロゴは、Box Inc.の商標または登録商標です。

DisplayPort は、米国及びその他の国における Video Electronics Standards Association の商標です。

Google Chrome は、米国および他の国々で登録された Google LLC.の商標です。

Google Meet は、Google LLC の商標または登録商標です。

HDMI は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

9

HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

iOS は、米国およびその他の国における商標またはシスコの登録商標であり、ライセンスのもとに使用されます。

iPadOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

USB Type-C®および USB-C®は USB Implementers Forum の登録商標です。

VGA は IBM Corporation の商標または登録商標です。

Zoom は、Zoom Video Communications, Inc.の商標または登録商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft 365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Edge の正式名称は Microsoft® Edge™ です。

Microsoft Teams は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Windows 10 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 10 Home

Microsoft® Windows® 10 Pro

Microsoft® Windows® 10 Enterprise

- Windows 11 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 11 Home

Microsoft® Windows® 11 Pro

Microsoft® Windows® 11 Enterprise

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

MEMO

